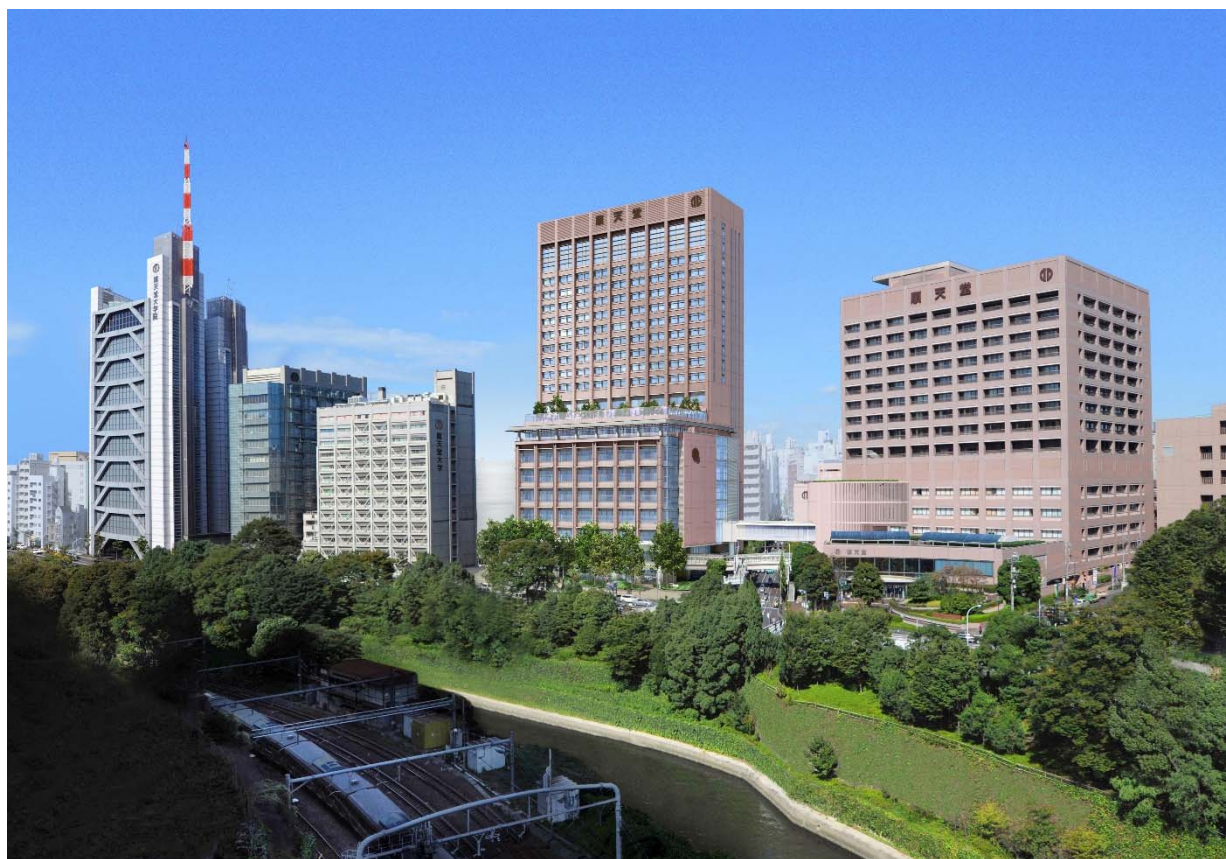


平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 4キャンパス6附属病院群



<https://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章

B 法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年

A法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の“サ”又はA 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2018年 順天堂創立180周年記念

開塾：1838年（天保9年）



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、今から180年前に学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀(現在の東日本橋 2-6-8)に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉(現在の千葉県佐倉市)に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拜命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を行いました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は欧文誌、Juntendo Medical Journal:JMJとして)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発

展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開設しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実に努めました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護取締(総婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして近年、第九代堂主(理事長)・小川秀興は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、

- ①平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- ②平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。
- ③平成19(2007)年、医療看護学部大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されました。
- ④平成22(2010)年、第4の学部として保健看護学部(静岡県三島市)が開設されました。

- ⑤平成 25 (2013) 年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院 医学研究科・修士課程が開設されました。
- ⑥平成 14 (2002) 年 6 月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成 16 (2004) 年 4 月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第 5 番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- ⑦加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、平成 17 (2005) 年、順天堂第 6 番目の医学部附属病院「練馬病院」が開設されました。
- ⑧大学内に文部科学省（文部省）などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として以下のセンター・研究所が設立されました。
- | | |
|----------------------|---------------------|
| (1) アトピー疾患研究センター | (2) 疾患モデル研究センター |
| (3) 老人性疾患病態・治療研究センター | (4) 環境医学研究所 |
| (5) 感染制御科学研究センター | (6) スポーツ健康医科学研究所 |
| (7) スポーツロジックセンター | (8) 国際交流センター |
| (9) ゲノム・再生医療センター | (10) 難病の診断と治療研究センター |
| (11) 静岡災害医学研究センター | (12) 女性スポーツ研究センター |
| (13) 先導的がん医療開発研究センター | |
- ⑨平成 26 年 12 月国際的に活躍する人材養成を目的として第 5 の学部となる「国際教養学部」の設置認可を受け、平成 27 年 4 月開学し、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。

順天堂は、附属 6 病院合計で総病床数 3,418 床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。附属 6 病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医育機関として、全国そして国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

現在、国際連携大学・研究所としては、北京大学、第四軍医大学（西安）、中国医科大学、中日友好医院（北京）、タイ国立皮膚病学研究所（バンコク）、ベトナム軍医大学、メイヨークリニック、MD アンダーソンがんセンター、シャリテ医科（ベルリン）大学などがあり、海外からの留学生・研究生は増え続けています。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校・国籍・性別の差別のない“三無主義”を学風として掲げ、5 学部 3 研究科 6 附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2018 年 5 月 15 日 (創立記念日)

学校法人 順 天 堂

理事長 小 川 秀 興

1. 法人の設置する学校

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24.11.大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25.4.同 開設。
		博士課程	昭和34.3.大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34.4.同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和46.3.大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46.4.同 開設。 平成9.4.大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	平成11.12.大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12.4.同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	平成18.11.大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19.4.同 開設。 平成26.4.同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25.10.大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26.4.同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12.（財）順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21.5.（財）順天堂医科大学設置認可。 昭和26.2.（学）順天堂医科大学認可。 昭和26.6.順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27.2.新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27.4.順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26.6.体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育専攻）開設。 昭和46.1.体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成4.12.スポーツ健康科学部設置認可。 平成5.4.体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29.10.順天堂医院看護婦養成所開設。 昭和29.4.順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36.3.同高等看護婦学校開設。 昭和38.4.順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51.11.順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元.4.順天堂医療短期大学開設。 平成15.11.医療看護学部設置認可。 平成16.4.順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19.6.同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21.6.保健看護学部設置届出。 平成21.9.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21.10.保健師看護師学校指定。 平成22.4.保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26.12.国際教養学部設置認可。 平成27.4.同 開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,026 床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	577 床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	785 床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	404 床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成 17. 7. 1	400 床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,418 床	

※病床数は平成30年3月31日現在の稼働数

3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成 10. 11. 19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	代田 浩之	学術フロンティア推進事業	平成 11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 12. 3. 21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 14. 9. 19	小川 秀興
感染制御科学研究センター	平松 啓一	21 世紀 COE プログラム	平成 15. 4. 1	平松 啓一
研究基盤センター	代田 浩之	—	平成 15. 10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 17. 10. 1	小川 秀興
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 19. 4. 24	小川 秀興
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	新井 一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 25. 10. 1	新井 一
先導的がん医療開発研究センター	代田 浩之	研究拠点形成費等補助金	平成 25. 11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 27. 10. 1	佐藤 浩一
難病の診断と治療研究センター	岡崎 康司	—	平成 28. 4. 1	新井 一

4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

研究科・学部・学科名称		修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3							
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次		
大学院	医学研究科	修士課程	2 年	20	31	40	56	30 (20)	26 (20)	-	-	-	-
		博士課程	4 年	140	160	520	535	155 (140)	133 (140)	136 (120)	111 (120)	-	-
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2 年	61	67	122	123	67 (61)	56 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3 年	10	10	30	40	9 (10)	16 (10)	15 (10)	-	-	-
	医療看護学 研究科	博士前期課程	2 年	15	15	30	38	15 (15)	23 (15)	-	-	-	-
		博士後期課程	3 年	7	6	21	26	6 (7)	7 (7)	13 (7)	-	-	-
大学院 計			253	289	763	818	282 (253)	261 (253)	164 (137)	111 (120)	-	-	
学部	医学部 医学科		6 年	137	138	763	774	138 (137)	132 (130)	127 (127)	132 (124)	121 (124)	124 (121)
	スポーツ健康科学部			410	410	1,400	1,384	408 (410)	323 (330)	330 (330)	323 (330)	-	-
	スポーツ科学科		4 年	250	250	820	811	250 (250)	186 (190)	190 (190)	185 (190)	-	-
	スポーツマネジメント学科		4 年	80	80	290	284	79 (80)	68 (70)	69 (70)	68 (70)	-	-
	健康学科		4 年	80	80	290	289	79 (80)	69 (70)	71 (70)	70 (70)	-	-
	医療看護学部 看護学科		4 年	200	204	800	800	204 (200)	205 (200)	199 (200)	192 (200)	-	-
	保健看護学部 看護学科		4 年	120	124	480	489	126 (120)	120 (120)	124 (120)	119 (120)	-	-
	国際教養学部 国際教養学科		4 年	120	123	360	360	123 (120)	122 (120)	115 (120)	平成 27 年度開設		-
学部 計			987	999	3,803	3,807	999 (987)	902 (900)	895 (897)	766 (774)	121 (124)	124 (121)	

※1 入学者欄は平成 29 年 4 月に入学した学生数

※2 在籍者欄は平成 30 年 3 月 31 日における学生数

※3 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	新井 一	学長
	木南 英紀	学長特別補佐、国際教養学部長
	代田 浩之	医学部長、大学院医学研究科長
	内藤 久士	スポーツ健康科学部長、大学院スポーツ健康科学研究科長
	工藤 綾子	医療看護学部長
	大熊 泰之	保健看護学部長
	天野 篤	順天堂医院長
	三橋 直樹	静岡病院長
	吉田 幸洋	浦安病院長
	高崎 芳成	順天堂越谷病院長
	津田 裕士	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	特任教授
	梁井 皎	特任教授
	植木 純	大学院医療看護学研究科長
多田 宏	非常勤	
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

6. 評議員

<選任条項順に記載>

児島 邦明	吉田 幸洋	高橋 和久	川崎 誠治	青木 和浩	工藤 綾子	細谷 芳三
幅下 貞美	島内 憲夫	長岡 功	吉村 雅文	高森 建二	富野康日己	森近 浩
中澤 真逸	土屋 清子	佐藤 潔	濱野 光之	小川 秀興	新井 一	天野 篤
内藤 久士	代田 浩之	梁井 皎	多田 宏	佐藤 信紘	大熊 泰之	三橋 直樹
植木 純	宮野 武	新井 平伊	岡田 隆夫	高崎 芳成	津田 裕士	丸木 親
奥村 康	稲富 恵子	澤木 啓祐	木南 英紀	青木きよ子		

(計 40名)

7. 研究科・学部一覧

	研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士(医科学) 博士(医学)	代田 浩之
	スポーツ健康科学研究科	修士(スポーツ健康科学) 博士(")	内藤 久士
	医療看護学研究科	修士(看護学) 博士(")	植木 純
学部	医学部 医学科	学士(医学)	代田 浩之
	スポーツ健康科学部	学士(学位名は下記のとおり)	内藤 久士
	スポーツ科学科	学士(スポーツ科学)	廣瀬 伸良
	スポーツマネジメント学科	学士(スポーツマネジメント学)	黒須 充
	健康学科	学士(健康学)	四方田 清
	医療看護学部 看護学科	学士(看護学)	工藤 綾子
	保健看護学部 看護学科	学士(看護学)	大熊 泰之
国際教養学部 国際教養学科	学士(国際教養学)	木南 英紀	

8. 教職員数

(1) 教員数

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計	
大 学 院	193	13	51	4	37	4	302	157	459	
(内訳)	医学研究科	7	50	4	37	4	267	111	378	
	スポーツ健康科学研究科	5	0	0	0	0	20	10	30	
	医療看護学研究科	1	1	0	0	0	15	36	51	
学 部	35	116	321	25	395	382	1,274	2,714	3,988	
(内訳)	医 学 部	5	87	283	6	344	376	1,101	2,381	3,482
	スポーツ健康科学部	5	16	12	1	19	5	58	143	201
	医療看護学部	0	6	16	5	22	1	50	66	116
	保健看護学部	9	5	5	11	7	0	37	43	80
	国際教養学部	16	2	5	2	3	0	28	81	109
合 計	228	129	372	29	432	386	1,576	2,871	4,447	

※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	145	47	1	22	215
学部本務教員内 大学院併任教員	6	355	6	29	396

	教員数
大学院	855
学 部	4,203

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
632	14	4,313	40	168	5,167

教職員合計
9,615

< 参考：平成 29 年度臨床研修医受入数 (括弧内は平成 29 年度新規受入数) >

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
94 (48)	32 (13)	75 (36)	64 (32)	265 (129)

9. 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)
新学術領域研究 (研究領域提案型)	新規	2	7	6,300	52,800	15,840
	継続	5		46,500		
基盤研究(S)	新規	1	1	52,100	52,100	15,630
	継続	0		0		
基盤研究(B)	新規	11	30	50,600	91,300	33,390
	継続	19		40,700		
基盤研究(C)	新規	85	263	113,000	296,700	89,010
	継続	178		183,700		
挑戦的萌芽研究	新規		24		21,350	6,405
	継続	24		21,350		
挑戦的研究(萌芽)	新規	4	4	8,400	8,400	2,520
	継続					
若手研究(A)	新規	0	1	0	4,400	1,320
	継続	1		4,400		
若手研究(B)	新規	40	127	57,000	143,500	43,050
	継続	87		86,500		
研究活動スタート支援	新規	5	16	5,500	16,100	4,830
	継続	11		10,600		
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)	新規	0	1	0	11,200	3,360
	継続	1		11,200		
特別研究員奨励費	新規	3	9	2,500	9,000	1,650
	継続	6		6,500		
奨励研究	新規	3	3	1,570	1,570	0
	継続					
合 計	新規	154	486	296,970	708,420	217,005
	継続	332		411,450		

② 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)	1	9,000
卓越研究員事業	1	8,383
合 計	2	17,383

③ 文部科学省：戦略的研究基盤形成支援事業

研究期間	研究代表者	プロジェクト名
平成 25 年度～ 平成 29 年度	環境医学研究所 高森建二 所長（特任教授）	難治性“かゆみ”の発症機構解明と予防・ 治療法開発の研究基盤構築
平成 26 年度～ 平成 30 年度	スポーツロジックセンター 綿田裕孝 センター長補佐（教授）	骨格筋機能に着目した統合的な介護予防 法開発プロジェクト
平成 26 年度～ 平成 30 年度	ゲノム・再生医療センター 新井 一 センター長（研究科長）	再生技術を用いた生活習慣病の次世代型 統合的研究基盤の構築
平成 26 年度～ 平成 30 年度	女性スポーツ研究センター 小笠原悦子 センター長（教授）	女性スポーツ研究センターにおける女性 アスリートコンディション管理に関する 研究基盤構築
平成 27 年度～ 平成 31 年度	静岡災害医学研究センター 佐藤浩一 センター長（教授）	大規模災害に対応する包括的医療提供体 制構築を目指す統合型研究拠点の形成

④ 文部科学省：私立大学研究ブランディング事業

研究期間	事業組織	プロジェクト名
平成 28 年度～ 平成 32 年度	健康総合科学先端研究機構 機構長 新井 一（学長）	脳の機能と構造を視る：多次元イメージ ングセンター
平成 29 年度～ 平成 33 年度		スポーツ科学による“Health Creatio n”：代謝科学研究を基軸に世界展開する ブランディング事業

⑤ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
厚生労働科学特別研究事業	1	3,028	908
がん対策推進総合研究事業	1	8,775	2,632
女性の健康の包括的支援政策研究事業	1	4,616	1,384
難治性疾患政策研究事業	1	6,237	1,871
地域医療基盤開発推進研究事業	1	4,600	400
合 計	5	27,256	7,195

⑥ 厚生労働省：労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	1	15,939	4,779
合 計	1	15,939	4,779

⑦ 厚生労働省：慢性疼痛診療体制構築モデル事業

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
慢性疼痛診療体制構築モデル事業	1	8,000	0
合 計	1	8,000	0

⑧ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構：医療研究開発推進事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会基盤整備事業	1	3,846	1,154
合計	1	3,846	1,154

(2) 委託費

① 文部科学省：女性アスリート育成・支援プロジェクト

プログラム名	採択件数(件)	直接経費(千円)	一般管理費(千円)
女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究	1	13,000	1,300
女性スポーツ医学普及啓発プログラム	1	3,636	364
合計	2	16,636	1,664

② 国立研究開発法人日本医療研究開発機構：医療研究開発推進事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	1	48,077	14,423
創薬基盤推進研究事業	2	30,769	9,231
再生医療実現拠点ネットワークプログラム	2	18,895	5,668
再生医療実用化研究事業	1	30,769	9,231
再生医療臨床研究促進基盤整備事業	1	1,538	462
革新的がん医療実用化研究事業	1	7,690	2,307
脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	3	27,192	8,158
長寿・障害総合研究事業	1	3,846	1,154
難治性疾患実用化研究事業	2	28,900	8,670
腎疾患実用化研究事業	1	13,923	3,727
革新的先端研究開発支援事業	4	38,538	11,562
オーダーメイド医療の実現プログラム	1	84,271	8,427
医薬品等規制調和・評価研究事業	1	5,169	1,551
創薬支援推進事業・創薬総合支援事業	1	9,090	909
合計	22	348,667	85,480

③ 国立研究開発法人科学技術振興機構

プログラム名	採択件数(件)	直接経費(千円)	一般管理費(千円)
革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)	1	5,750	250
合計	1	5,750	250

④ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
戦略的創造研究推進事業 (CREST)	1	19,000	5,700
研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)	1	500	150
研究成果展開事業 (COI)	1	44,120	11,030
合計	3	63,620	16,880

10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	設置期間	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト) 講座	株式会社ヤクルト本社	H17. 4. 1 ~H33. 3. 31	医学研究科 特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業株式会社ジャパンファーマビジネスユニット 株式会社三和化学研究所 株式会社総合医科学研究所	H18. 4. 1 ~H32. 3. 31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
認知症診断・予防・治療 学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H21. 1. 1 ~H29. 12. 31	神経学 教授 服部 信孝
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	H23. 5. 1 ~H32. 3. 31	医学研究科 研究科長 代田 浩之
免疫病・がん先端治療学 講座	キッセイ薬品工業株式会社	H24. 4. 1 ~H30. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
運動障害疾患病態研究・ 治療講座	日本メドトロニック株式会社 協和発酵キリン株式会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 キッセイ薬品工業株式会社	H24. 4. 1 ~H30. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	テルモ株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社カネカメディックス	H24. 8. 1 ~H30. 7. 31	脳神経外科学 教授 新井 一
神経疾患病態構造学講座	株式会社未来開拓総合企画	H25. 4. 1 ~H30. 3. 31	特任教授 内山 安男
パーキンソン病病態解明 研究講座	大塚製薬株式会社 山岸広太郎	H25. 4. 1 ~H31. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
電子医療情報管理学講座	富士通株式会社	H26. 4. 1 ~H31. 3. 31	医学研究科 研究科長 代田 浩之
遺伝子疾患先端情報学講 座	大塚製薬株式会社 ジェネシスヘルスケア株式会社 株式会社イグニス	H26. 4. 1 ~H32. 3. 31	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
多発性硬化症および神経 難病治療・研究講座	大原薬品工業株式会社 小野薬品工業株式会社 旭化成メディカル株式会社 田辺三菱製薬株式会社 日本製薬株式会社 MiZ 株式会社 アッヴィ合同会社	H26. 10. 1 ~H32. 9. 30	神経学 教授 服部 信孝

寄付講座名	寄付者	設置期間	責任者等
ジェロントロジー ：医学・健康学応用講座	株式会社東急不動産 R&D センター 東急不動産株式会社 株式会社東急イーライフデザイン	H27. 1. 1 ～H32. 12. 31	特任教授 佐藤 信紘
心血管睡眠呼吸医学講座	フィリップス・レスピロニクス合同会社 フクダ電子株式会社 レスメド株式会社	H27. 4. 1 ～H30. 3. 31	循環器内科学 教授 代田 浩之
運動器・腫瘍性疾患病態 学講座	中外製薬株式会社 サントリーウエルネス株式会社 久光製薬株式会社 株式会社大田胃酸 大正富山医薬品株式会社	H27. 4. 1 ～H30. 3. 31	整形外科・運動器医 学 教授 金子 和夫
乳酸菌生体機能研究講座	株式会社明治研究本部	H27. 4. 1 ～H30. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
社会性不妊治療学講座	千葉県浦安市	H27. 7. 1 ～H30. 3. 31	浦安病院 産婦人科 教授 吉田 幸洋
糖尿病治療標的探索医学 講座	(非公開)	H28. 4. 1 ～H31. 3. 31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
国際医療研究学講座	一般社団法人体性幹細胞臨床研究会	H28. 6. 1 ～H31. 5. 31	総合診療科学 教授 内藤 俊夫
腸内フローラ研究講座	森永乳業株式会社	H29. 4. 1 ～H32. 3. 31	特任教授 佐藤 信紘
マイクロバイオーム研究 講座	アサヒグループホールディングス株式会社	H30. 3. 1 ～H33. 2. 28	医学研究科 研究科長 代田 浩之

※責任者等の職制は、平成 30 年 3 月 31 日の現職を記載

11. 共同研究講座

共同研究講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
漢方医学先端臨床セン ター	株式会社ツムラ	H28. 4. 1 ～H31. 3. 31	病院管理学 教授 小林 弘幸
戦略的手術室改善マネジ メント講座	株式会社ホギメディカル	H28. 10. 1 ～H31. 9. 30	心臓血管外科学 教授 天野 篤
次世代血液検査医学講座	シスメックス株式会社	H28. 12. 1 ～H31. 11. 30	輸血・幹細胞制御学 教授 大坂 顯通
次世代免疫細胞・再生医 療学講座 (江川記念 SETA 講座)	医療法人社団湊志会	H29. 4. 1 ～H34. 12. 31	学 長 新井 一
オートファジー調節化合 物探索研究講座	大日本住友製薬株式会社	H29. 4. 1 ～H32. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
居住環境神経生理学研究 講座	株式会社フジタ	H29. 7. 1 ～H32. 3. 31	病院管理学 教授 小林 弘幸
創傷治療学先端研究講座	佐藤製薬株式会社	H29. 10. 1 ～H32. 9. 30	形成外科学 教授 水野 博司
認知症診断・予防・治療 学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H30. 1. 1 ～H32. 12. 31	神経学 教授 服部 信孝

※責任者等の職制は、平成 30 年 3 月 31 日の現職を記載

12. 授業料・入学金等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	入学試験検定料	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000	20,000
		修士課程	200,000	400,000	150,000	-	-	750,000	20,000
	スポーツ健康科学研究科		200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
	医療看護学研究科		200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	-	2,900,000	※4参照
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000	-
	スポーツ健康科学部		200,000	700,000	300,000	-	150,000	1,350,000	※4参照
	医療看護学部		300,000	900,000	300,000	350,000 ※2	-	1,850,000	※4参照
	保健看護学部		300,000	900,000	300,000	140,000 ※3	-	1,640,000	※4参照
	国際教養学部		300,000	1,000,000	-	-	250,000	1,550,000	※4参照

※1 入学時のみ

※2 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

※3 2年次以降は420,000円

※4 試験形態毎の入学検定料

学部	試験形態	入学検定料
医学部	一般A方式	60,000
	一般B方式	
	地域枠選抜	
	センター・一般独自併用	40,000
	センター利用	
	国際臨床医・研究医枠	
スポーツ健康科学部	AO（一般選抜・教員志望選抜）	35,000
	AO（一般選抜・教員志望選抜セット出願）	55,000
	推薦（一般推薦、スポーツ推薦）	35,000
	一般推薦＋スポーツ推薦セット出願	55,000
	一般（1学科）（英語外部試験利用も同様）	35,000
	〃（2学科）（英語外部試験利用も同様）	50,000
	〃（3学科）（英語外部試験利用も同様）	65,000
	センター＋一般セット出願（1学科）	55,000
	〃（2学科）	65,000
	〃（3学科）	75,000
	センター利用A方式（センター型）	20,000
	〃 B方式（独自併用型）	30,000
	〃 C方式（面接型）	
〃 D方式（競型）		

学部	試験形態	入学検定料	
医療看護学部	推薦・帰国生	30,000	
	一般	35,000	
	センター利用（前期）	25,000	
	センター利用（後期）	1/13 17時までの出願	15,000
		1/13 17時以降の出願	25,000
	併願（一般、センター利用）	55,000	
	〃（一般、センター・独自併用）		
	〃（センター利用、センター・独自併用）		
〃（一般、センター利用、センター・独自併用）	70,000		
保健看護学部	推薦	30,000	
	特別選抜		
	一般		
	センター利用（前期、後期）	25,000	
	併願（推薦、特別選抜）	50,000	
	〃（一般、センター利用）		
	〃（一般、センター独自併用）		
	〃（一般、センター利用前期、センター独自併用）		
〃（一般、センター利用前期・後期、センター独自併用）	70,000		
国際教養学部	特別（I、II）	35,000	
	特別（グローバル方式）	30,000	
	推薦	35,000	
	センター利用（A方式、B方式）	20,000	
	併願（センターA方式、B方式）	35,000	
	一般（前期A方式、前期B方式、後期）	35,000	
併願（一般前期A方式、前期B方式）	50,000		

13. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

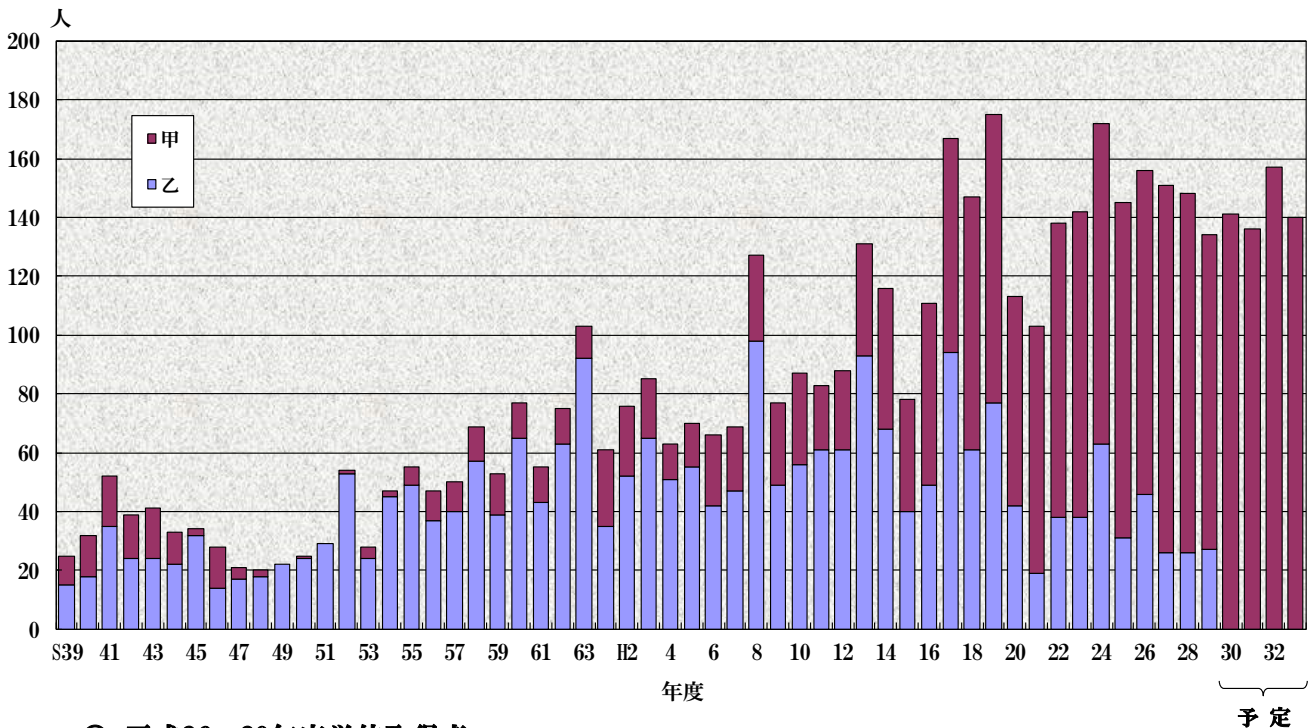
(単位:名)

区 分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	100	100	120	120	
” 入学者数 (”)	119	138	121	127	
博士 (医学) 甲 学位記授与数	110	125	121	107	《2,004》
満期退学後学位取得者数	0	0	1	0	
博士 (医学) 乙 学位記授与数	46	26	26	27	《2,421》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	20	20	20	20	
” 入学者数 (”)	31	22	27	25	
修士 (医科学) 学位記授与数	30	22	24	26	《102》

順天堂大学博士 (医学) 学位授与者数推移

平成30年 3月

甲 2,004号 乙 2,421号 (計:4,425号)



◎ 平成26~29年度学位取得者

甲論文 (英文98.1%) 平均IF ≒ 3.22

乙論文 (英文90.4%) 平均IF ≒ 2.54

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	10	10	10	10	
〃 入学者数 (〃)	9	8	13	12	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	6	8	8	7	《56》
満期退学後学位取得者数	2	1	0	1	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	3	3	3	3	《22》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
〃 入学者数 (〃)	48	51	60	56	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	49	51	57	51	《1,026》

大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	-	-	7	7	
〃 入学者数 (〃)	-	-	11	11	
博士 (看護学) 甲 学位記授与数	-	-	7	7	《14》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	15	15	15	15	
〃 入学者数 (〃)	15	20	21	22	
修士 (看護学) 学位記授与数	14	18	20	22	《167》

14. 学部卒業生数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位 (学士)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	111 (29)	108 (36)	123 (38)	123 (37)	医専卒 《319》 医科大卒 《89》 学部卒 《5,003》 累計 《5,411》
スポーツ健康科学部		323 (105)	323 (105)	332 (108)	320 (102)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《6,940》 累計 《12,147》
スポーツ科学科	スポーツ科学	185 (54)	186 (52)	190 (55)	184 (52)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	70 (25)	68 (27)	72 (27)	66 (24)	
健康学科	健康学	68 (26)	69 (26)	70 (26)	70 (26)	
医療看護学部 看護学科	看護学	197 (185)	196 (190)	202 (189)	192 (182)	講習所 《1,182》 看護学院 《29》 准看護婦学院 《132》 高等看護学校 《775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《1,985》 累計 《6,773》
保健看護学部 看護学科	看護学	118 (110)	120 (107)	119 (109)	119 (110)	累計 《590》

15. 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業者数	
大学院	医学 研究科	博士 課程	大学・研究機関	60名	109名
			医療機関	34名	
			民間企業	2名	
			その他	13名	
		修士 課程	大学・研究機関	4名	26名
			医療機関	3名	
			民間企業	5名	
			進学	12名	
	スポーツ 健康科学 研究科	博士 後期 課程	教員・研究機関	8名	11名
			就職（民間企業・公務員等）	1名	
			その他	2名	
		博士 前期 課程	教員・研究機関	18名	51名
			就職（民間企業・公務員等）	25名	
			進学	3名	
			その他	5名	
		医療看護 学研究科	博士 後期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	1名
教員・研究機関	6名				
その他	0名				
博士 前期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関		12名	22名	
	教員・研究機関		5名		
	進学		3名		
学部	医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院群）	76名	123名	
		〃（他大学医学部附属病院群）	6名		
		〃（大学病院以外の臨床研修指定病院群）	38名		
		その他	3名		
	スポーツ 健康科学部	教員・研究機関	68名	320名	
		就職（民間企業・公務員等）	213名		
		進学	28名		
		その他	11名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院群	172名	192名	
		本学以外の医療機関	16名		
		進学	3名		
		その他	1名		
	保健看護学部	本学医学部附属病院群	77名	119名	
		本学以外の医療機関	38名		
		進学	3名		
		その他	1名		

16. 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

東京都女性活躍推進大賞優秀賞受賞

東京都より平成 29 年度『東京都女性活躍推進大賞』優秀賞（教育分野）を受賞しました。同賞は、全ての女性が意欲と能力に応じて多様な生き方が選択できる社会の実現に向け、女性の活躍推進に取り組む団体に東京都が贈呈する賞です。

スポーツロジに関する取組が科学誌「Nature」に掲載

本学のスポーツロジに関する取組が、科学誌「Nature」（2017 年 9 月 7 日号）の特集「SPOTLIGHT ON SPORTS SCIENCE」で 2 ページにわたり掲載されました。「スポーツロジ」は、医学、スポーツ科学をコアとして、神経学、哲学及び社会学なども統合して、スポーツのプレーや観戦と健康増進効果との関係を調べる新しい研究領域です。スポーツロジに関する国際学会を本学で開催するに至った経緯、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック、とくにパラリンピックに焦点を当てた第 3 回国際スポーツロジ学会（2017 年 10 月 14 日開催）が紹介されています。併せて、平成 30 年度に 180 周年を迎える本学全体の紹介記事も掲載されました。



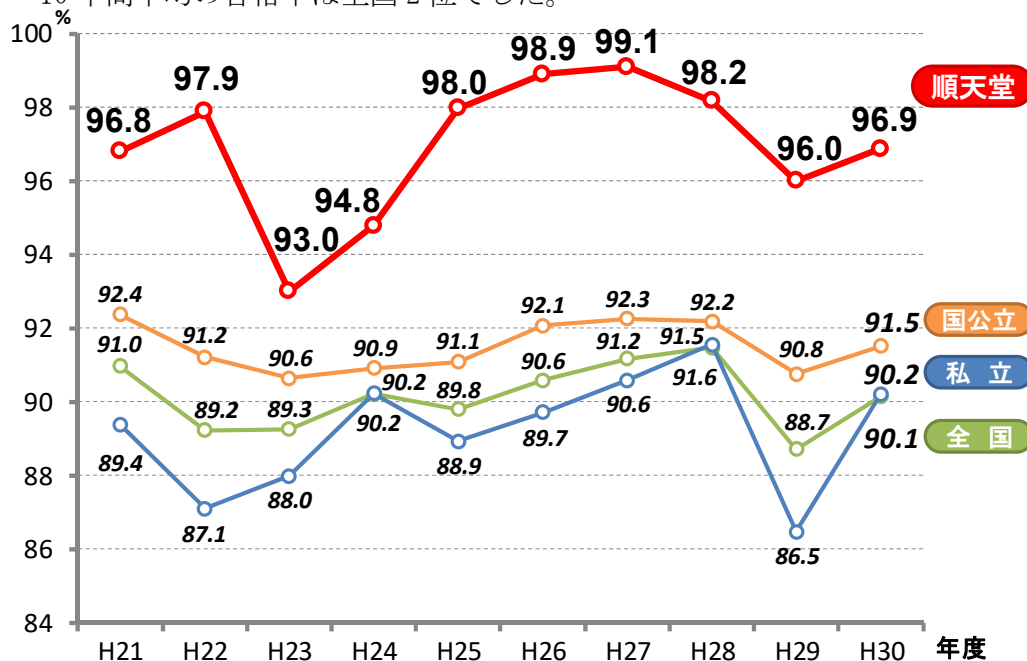
学校法人順天堂「AA」の格付けを維持

我が国最大の格付機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）による格付けにおいて、本法人は「AA（ダブルエーフラット）」の格付けを維持しました。本法人の医療機関としての強い競争力が評価され、今後の方向性も「安定的」とされました。本法人は、平成 19 年 8 月に初めて格付けを取得してから継続して「AA」を維持しています。

【大学院医学研究科・医学部】

医師国家試験合格率推移

今年度の第 112 回医師国家試験の合格率は 96.9% で全国国公立大学 80 校中 4 位、直近 10 年間平均の合格率は全国 2 位でした。



医学部の入学定員増

平成 29 年 7 月 10 日付、文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの平成 30 年度医学部入学定員の増加について」を受け、地域医療に貢献する医師養成の観点から、入学定員を 3 名増員する計画〔千葉県地域枠 1 名（追加）、埼玉県地域枠 2 名（追加）〕を申請し、認可されました。平成 30 年度から医学部入学定員は 137 名から 140 名に増員となります。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】

スポーツ健康科学部入学定員増

平成 29 年度から入学定員増が認められ、1 学年の定員が 410 名（スポーツ科学科 250 名、スポーツマネジメント学科 80 名、健康学科 80 名）となりました。

教員採用試験・就職率

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ 103 名（補欠合格・私学含む）が合格しました。うち現役生の合格者数は 32 名でした。企業就職志望者 188 名の就職内定率は 100% となり、平成 27 年度から 3 年連続で就職内定率 100% を達成しました。

スポーツ庁委託事業「日本版 NCAA 創設事業（大学スポーツ振興の推進）」に採択

スポーツ庁が大学スポーツ・アドミニストレーターを配置する大学におけるスポーツ活動を支援する公募事業「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版 NCAA）創設事業（大学スポーツ振興の推進）」に採択されました。

日本ゴールボール協会・日本ボッチャ協会との連携協力協定締結

平成 30 年 1 月 25 日、本学は、一般社団法人日本ゴールボール協会及び一般社団法人日本ボッチャ協会と連携協力協定を締結しました。「ゴールボール」及び「ボッチャ」は、2020 年の東京パラリンピックでの正式競技種目で、メダル獲得への期待が高まっているパラ（障がい者）スポーツです。すでに取り組んでいる体験会・体験授業等の事業は、本学学生主導で行われており、子どもたちを対象とした学校での活動をはじめ、自治体や企業との連携をより積極的に推進しています。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】

看護師・保健師・助産師国家試験合格率

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	100%	93.5%	100%
保健看護学部	98.4%	82.0%	—
全国平均（参考）	91.0%	81.4%	98.7%

専門看護師認定実績

医療看護学研究科修了生 2 名が専門看護師（CNS）認定試験に合格しました（慢性疾患看護分野 2 名）。これまでの CNS 合格者数は、慢性疾患看護分野 17 名、がん看護分野 7 名、精神看護分野 3 名、老人看護分野 2 名、小児看護分野 2 名、感染症看護分野 2 名の合計 33 名です。

また、従来 6 分野（慢性看護、がん看護、精神看護、老年看護、小児看護、感染看護）で 26 単位の専門看護師教育課程として実施していましたが、平成 29 年度からは更に 2 分野（母性看護、在宅看護）を加えた計 8 分野において、新たに 38 単位の教育課程を開講しました。

【国際教養学部】
国際教養学部 セミナー・フォーラム・特別講義の開催

リベラルアーツの涵養を図るため、国内外の専門家を招いてセミナー・フォーラム・特別講義を開催しました。

(1) 第2回「持続可能な高齢化社会」フォーラム

開催日：平成29年12月18日

- ・講演① シンガポール国立大学日本研究学科長 Dr. Thang Leng Leng
- ・講演② シンガポール国立大学社会政策分析学部 教授 Paul Cheung
- ・講演③ 順天堂大学医学部医学教育研究室 教授 武田 裕子

(2) 特別講義

開催日	タイトル	講師
5月8日 ～5月29日	特別講義（計4回開催） ①様々な世界地図を見て国際感覚を身につけよう ②組織論について ③アメリカという国の成り立ち ④死生観、コミュニケーションのあり方	特任教授 池上 彰
11月7日	石巻と東日本大震災と私	石巻市復興まちづくり情報交流館中央館館長 リチャード・ハルバーシュタット
11月14日	国際教養としての日本美学①	日本画家 平松 礼二
11月21日	世界遺産アンコール遺跡にみる国際情勢	NHK 国際放送局 道傳 愛子
11月28日	国際教養としての日本美学②	日本画家 平松 礼二
12月11日	グローバル人材になるための準備 国際公務員になる近道	公益財団法人フォーリン・プレスセンター 理事長 赤阪 清隆
12月12日	時速30キロ～ヤンゴン市鉄道とミャンマー民主化	NHK 国際放送局 道傳 愛子
12月20日	国連の理想と現実 東アジアの危機と国連	公益財団法人フォーリン・プレスセンター 理事長 赤阪 清隆
1月9日	世界はTOKYOをめざす	NHK 国際放送局 道傳 愛子
1月10日	国境なき医師団と人道援助活動	国境なき医師団会長 加藤 寛幸
1月17日	地球の旅人～世界73カ国を回って行ってきた国際貢献や交流について～	NPO 法人国際交流支援協会理事長 松下 文治

17. 臨床活動の主な概要

【順天堂医院】

東京都難病相談・支援センター開設

平成 29 年 7 月、東京都からの委託事業として、C 棟 2 階に東京都難病・相談支援センターを開設しました。平日 10 時から 17 時まで、専従の看護師、医療相談員が療養相談、就労相談を受けています。難病相談医療の会、講演会等も定期的に開催しており、東京都と協力して、難病患者さんの不安を少しでも取り除けるよう、環境を整えています。

睡眠・呼吸障害センター開設

平成 29 年 8 月、C 棟 4 階に睡眠・呼吸障害センターを開設しました。睡眠異常が生活習慣病や心血管疾患のリスクになることが世界的に注目されています。複数診療科での診療協力体制と医師・技師・看護師等の教育体制を充実させ、睡眠問題を抱える患者の受け入れを一元化し、検査・治療装置や治療薬に関する臨床研究、治験の充実、更には、医療の発展へつなげていくことを目的としています。

1,026 床への増床

平成 29 年 8 月、順天堂による国家戦略特区高度医療提供事業の一環として、これまでの 1,020 床から 1,026 床に増床し、稼働しました。今後も順次増床を行い、最終的に 1,051 床の増床を予定しています。特定機能病院として、また国家戦略特区高度医療提供事業として、高度で先進的な医療を推進し、より高い質の医療を提供出来るよう努めます。

低侵襲医療への取り組み

平成 29 年度は特に低侵襲医療に力を入れました。ロボット支援下手術：ダヴィンチによる手術実績は、年々増加しています。ホームページにも低侵襲医療について特設ページを設け、より高度な医療を求める患者さんに分かり易いよう掲載しています。

低侵襲治療を推進し、平均在院日数の短縮を図り、患者さんが 1 日でも早く社会復帰出来るよう、ニーズに応えた診療を提供していきます。

JCI 追加審査 (B 棟低層棟)

平成 29 年 12 月 8 日に追加審査を受け、概ね良好の評価をいただき、B 棟低層棟についても JCI (Joint Commission International) の認証を取得しました。平成 30 年 12 月には、再審査が予定されています。順天堂医院一丸となって、再審査受審に向け取り組んでいきます。

礼拝室「Prayer Room」の設置

お祈りを必要とされる方のために平成 29 年 12 月 1 日に 1 号館地下 1 階に礼拝室「Prayer Room」を設置しました。主にムスリムの方の利用を想定していますが、特定の宗教に限定せず、お祈り、祈祷、黙祷、瞑想、物思いなど静かな環境の下での精神活動のために、患者さんやそのご家族、大学の留学生や教職員の利用も見込んでいます。

【静岡病院】

ドクターヘリ格納庫運用開始

平成 29 年 4 月 6 日に関連市町関係者を招いてドクターヘリ格納庫の竣工式を行い、4 月 13 日から運用を開始しました。

システムの強化

4 月：眼科カルテシステム、10 月：リハビリシステム及び透析システム、11 月：手術部門システム、2 月：耳鼻科カルテシステムの運用を順次開始しました。業務の効率化・省力化の推進と診療支援機能の向上を図りました。

新棟建設の実施設計を開始

平成 30 年 2 月に「静岡病院増改築計画」実施設計及び施工会社が決定し、平成 30 年 12 月着工を目標として、新築工事の実施設計を開始しました。

X 線 CT 装置の更新

平成 30 年 2 月、X 線 CT 装置を更新しました。従来の CT より多彩なソフトウェアを搭載しスペックが向上しており、低被曝化により安全性が大幅に向上しています。今回の更新により、3 台体制による 64 列以上の CT 稼働が確立でき、高画質による診療の質向上と患者待ち時間が大幅に短縮されました。

心臓血管造影 X 線診断装置の更新

平成 30 年 3 月、心臓血管造影 X 線診断装置を更新しました。以前よりも低被曝で、より鮮明で緻密な画像を得られ、従来よりも安全に、短い時間で治療が可能となりました。また、近年増加傾向にある下肢血管の診断や治療にも対応が可能となりました。

【浦安病院】

3 号館竣工

平成 29 年 6 月 13 日に 3 号館竣工式を執り行い、浦安病院の総病床数は 659 床より 785 床に増床しました。6 月 21 日より正面玄関、第 1 駐車場の運用開始、7 月 1 日より 4～7 階病棟の運用開始、7 月 10 日に外来・医事課会計窓口含めての全面運用を開始しました。

中央手術室の増室

平成 29 年 4 月から、中央手術室を 3 室増室しました。これにより、増加する手術に対応ができ、飛躍的に手術件数が増加しました。

外科組織変更及び救急プライマリケアセンターを新設

平成 29 年 4 月 1 日、診療体制強化を目的に、「外科」を臓器別で患者に分かりやすい表記にするため、「消化器・一般外科」と「乳腺・内分泌外科」に組織変更しました。また、3 次救急医療から独歩・小児科患者まで軽症から幅広く救急患者を受け入れる体制を整備し、救命救急センターの下に「救急プライマリケアセンター」を新設しました。

うらやす市民大学「医療講座」の開設

平成 29 年 6 月より、「浦安の身近な医療・健康問題を考えるー日本における西洋医学の変遷と今日・今後の医療に視点を据えてー」と題し、6 月 3 日～翌年 3 月 17 日までの第 1、3 土曜日に各診療科の教授、講師が計 17 回の講義を実施しました。また、本郷・お茶の水キャンパスにある日本医学教育歴史館見学や佐倉順天堂記念館で現地学習を実施しました。

X 線 TV 装置設置

3 号館 3 階の内視鏡センターに C アーム付 X 線 TV 装置を設置しました。気管支鏡検査時の体位変換が不要で、被曝低減により患者及び医療スタッフの安全性も向上しました。

中央採血室、心電図室の増室

平成 30 年 1 月に、中央採血室の拡張、心電図室の増室を行いました。これにより、外来患者の検査待ち時間の解消だけでなく、検査件数の増加にも寄与しました。

病児・病後児保育室の開室

平成 30 年 3 月に、病児・病後児保育室「みつばち うらやす」を開室しました。院内での設置には、浦安市民からの強い要望があり、病気により保育園等に預けられない乳幼児・小学校に就学している児童を一時的に預かり、保育及び看護ケアを行うものです。

【順天堂越谷病院】**医療情報システム稼働**

平成 29 年 5 月 7 日より新医療情報システム（オーダリングシステム）が稼働を開始しました。

DPAT 派遣協定締結

平成 30 年 3 月 23 日付で、埼玉県災害派遣精神医療チーム（埼玉 DPAT）の派遣に関する協定を締結しました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】**SPECT 装置更新**

開院以来 15 年以上経過した大型診療機器が更新の時期を迎えており、平成 29 年度は、SPECT 装置の更新を行ない SPECT-CT 装置を導入しました。

医療情報システム更新

平成 30 年度電子カルテ導入に向けて、平成 29 年度は、平成 24 年 1 月に導入したハードウェア、ソフトウェアの機能拡充のための更新を平成 29 年 12 月から平成 30 年 1 月までに行ないました。

地域医療連携の強化

平成 25 年度から江東区医師会と医療連携推進委員会を年 2 回開催して病院の紹介・情報交換を行なっています。さらに医療連携の強化を図るために、江戸川区医師会とも平成 29 年 10 月より医療連携推進委員会を開催することとなりました。

【練馬病院】**注射薬自動払出装置の導入**

平成 30 年 1 月 22 日より、1 号館 1 階薬剤科において、注射自動払出装置を導入しました。カートを収納すると自動的に取り揃えが行われることが可能です。アレルギー情報や薬歴を確認しながら調剤できるようになりました。

救急室看護師のメキシコ派遣

平成 29 年 9 月に発生したメキシコ大地震に関して、日本の国際緊急援助隊救助チームの派遣が決定し、当院救急室の坂本看護師に依頼がありました。9 月 21 日より 10 日間で現地にて任務にあたりました。

病理人材育成と体制整備事業

平成 29 年 11 月 8 日に、厚生労働省の国際展開推進事業の一環として、病理診断システムの強化・病理医養成に係る研修の受け入れを当院にて行いました。当日は、カンボジアより 4 名の病理医師が訪問し、見学、診断方法の説明や病理医養成等についてスライドを使用した説明を行いました。

医療連携の会開催

平成 29 年 5 月 6 日に、ホテルメトロポリタン池袋において、『逆紹介』をテーマに当院主催の医療連携の会を開催しました。病院からは職員 68 名が参加し、連携先医療機関からは 108 名の方々にご参加いただきました。各診療科長より、診療科のセールスポイントなどを説明し、今後の更なる病診連携を推進する良い機会となりました。

診療情報提供書の電子化

東京都地域医療連携 ICT システム整備支援事業の一環として、HPKI を（Healthcare Public Key Infrastructure）を導入しました。これにより、医師資格証を用いて診療情報提供書の電子化が可能となり、円滑な病診連携を進めることが可能となります。

18. 国際交流活動

【大学交流協定について】

新たに、ストラスブール大学、ブリガム・アンド・ウィメンズ病院、北京大学人民医院、ミネソタ大学、デモントフォート大学、シンガポール国立大学と大学交流協定を結び、国際交流協定校は23カ国／地域、57校となりました。

大学交流協定校一覧

アジア	大洋州	欧州
中国 ・北京体育大学 ・中日友好医院 ・中国医科大学 ・大連理工大 ・復旦大学 ・ハルビン医科大学 ・華中科技大学 ・蘭州大学 ・寧夏医科大学 ・北京大学 ・北京大学人民医院 ・四川大学 ・天津医科大学 ・香港大学	シンガポール ・シンガポール国立大学	ベルギー ・ブリュッセル自由大学
台湾 ・高雄医学大学 ・国立台湾大学 ・台北医学大学	オーストラリア ・西シドニー大学	フィンランド ・ユヴァスキュラ応用科学大学
タイ ・チェンマイ大学 ・チュロンコン大学 ・カセサート大学 ・メーファーン大学 ・マヒドン大学 ・スラナリー工科大学 ・タマサート大学	ニュージーランド ・オタゴ大学	フランス ・ストラスブール大学
インドネシア ・アイルランガ大学 ・ガジャ・マダ大学 ・パジャジャラン大学 ・インドネシア大学	カナダ ・プリティッシュコロンビア大学	ドイツ ・シャリテ医科大学
韓国 ・漢陽大学 ・仁済大学 ・韓国体育大学 ・蔚山科学技術大学	アメリカ ・ブリガム・アンド・ウィメンズ病院 ・スタンフォード大学 ・ハワイ大学 ・ミネソタ大学 ・ニューメキシコ大学 ・MDアンダーソンがんセンター	ハンガリー ・ゼメルバイス大学
マレーシア ・マラヤ大学	中東	ロシア連邦 ・カザン連邦大学
	パーレーン ・アラビアンガルフ大学	スペイン ・カルロス三世大学 ・サラマンカ大学
	イラン ・テヘラン医科大学	イギリス ・デモントフォート大学 ・ロンドン大学聖パーツ病院
	トルコ ・アジュバーテム大学	
	中南米	
	ブラジル ・ベルナンブコ連邦大学	

2018年3月31日 現在

【留学生の研修・交流活動について】

留学生の受け入れは、39カ国／地域、453名でした。留学生同士の交流を図るとともに、日本人学生や教職員との交流も積極的に推進しています。

国／地域名	人数	国／地域名	人数	国／地域名	人数
中国	118名	オマーン	4名	スイス	1名
台湾	69	ニュージーランド	4	スロベニア	1
シンガポール	34	フィリピン	4	チリ	1
アメリカ	33	ベトナム	4	トルコ	1
韓国	31	オーストリア	3	バングラデシュ	1
タイ	30	パキスタン	3	ブルネイ	1
マレーシア	20	カナダ	2	ポーランド	1
ドイツ	18	コロンビア	2	ホンジュラス	1
イギリス	15	スウェーデン	2	ミャンマー	1
インドネシア	11	メキシコ	2	モンゴル	1
オーストラリア	11	イラン	1	ロシア	1
フランス	7	エストニア	1		
イタリア	6	オランダ	1		
ブラジル	5	クウェート	1		
				合計：39カ国／地域	453名

※学部生、大学院生（修士・博士）、外国人研究生、短期研修生

【学術交流について】

○ 東京オンコロジーコンソーシアム参画・MDACC との姉妹協定締結

平成 29 年 7 月 29 日、聖路加国際大学・慶応義塾大学の組織する東京オンコロジーコンソーシアムに参画し、MD アンダーソンがんセンターとの姉妹協定を締結しました。同日、本協定締結を記念し、MD アンダーソンがんセンター・東京オンコロジーコンソーシアム主催（後援：厚生労働省）による国際シンポジウム「Oncology Forum 2017」が開催されました。今後は本協定のもと、がんの根絶に向け、臨床・教育・予防・研究プログラムの開発に関する協働活動の促進が期待されます。



活気に満ちた国際シンポジウムの様子

○ ルクセンブルク大公国保健大臣来訪

平成 29 年 10 月 3 日、ルクセンブルク大公国保健省 Mutsch Lydia 大臣をはじめとする訪問団が、順天堂大学を来訪されました。当日は、本学医学部神経学講座（教授：服部信孝）とルクセンブルク大学システム生体医学センターのパーキンソン病に関する各種研究における連携強化を目的とした共同研究協定が締結されました。今後、同分野での研究が加速されることが期待されます。



ルクセンブルク大公国訪問団の表敬訪問の様子

○ 第 2 回順天堂大学－仁済大学国際共同シンポジウム

平成 29 年 11 月 4 日、第 2 回順天堂大学－仁済大学国際共同シンポジウムが順天堂大学本郷・お茶の水キャンパスにて開催されました。本学からは、新井一学長、代田浩之医学部長、生化学第一講座 横溝岳彦教授、神経学講座 横山和正講師、血液内科学講座 安藤純准教授が出席し、免疫学というテーマについて、それぞれ神経学並びに血液内科学分野の視点から発表されました。次回の共同シンポジウムは韓国にて開催される予定です。



第 2 回順天堂大学－仁済大学
国際共同シンポジウムの様子

○ 海外留学支援シンポジウム

平成 29 年 11 月 17 日、海外留学を希望・検討している学生、研修医、教職員を対象とした海外留学支援シンポジウムが開催されました。当日は様々な立場と制度で留学を経験した 3 名の演者より、それぞれの経緯から感想・現在のキャリアへの関連性までを率直に講演いただきました。参加者は熱心に耳を傾け、続く質疑応答・懇親会では非常に具体的な意見交換がなされました。今後も各学部・研究科をはじめとする部署との連携を強め、同様のイベントの支援をする等、学内の国際化を推進していきます。



シンポジウム後の懇親会にて

19. 文部科学省等採択事業の概要

科学研究費助成事業

平成 29 年度文部科学省「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」の新規採択率は 26.3%、採択件数は 491 件（継続含む）で 4 年制私立大学 569 校中第 5 位、配分額は第 6 位となりました。

私立大学研究ブランディング事業

平成 29 年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」（タイプ B【世界展開型】）に、本学の研究プロジェクト「スポーツ科学による「Health Creation」：代謝科学研究を基軸に世界展開するブランディング事業」が選定されました。

私立学校施設整備費補助金

文部科学省「私立学校施設整備費補助金」に採択され、次の整備事業を実施しました。

(1) 研究装置

① クラスタマシン（ゲノム情報解析用高性能コンピュータ）

(2) 防災機能等強化緊急特別推進事業

① 順天堂大学キャンパス・ホスピタル再編事業（仮称）新研究棟建設

私立大学等研究設備整備費等補助金

文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金」に採択され、次の整備事業を実施しました。

① マルチアングルライブイメージングシステム Lightsheet Z.1、② 日立 MR イメージング装置、③ 多用途筋機能評価運動装置、④ ミトコンドリア酸素活性・細胞代謝計測セット Oxygraph-2k/LEDmodule、⑤ 汎用超音波画像診断装置 Aixplorer 一式

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

平成 27 年度に採択されました文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」が 3 年目（補助期間最終年）を迎えました。東京医科歯科大学、株式会社ニッピと連携して行う本事業では、女性研究者の活躍推進や研究環境のダイバーシティ実現に取り組んでおり、合同シンポジウムや各種セミナー開催しました。補助期間は平成 29 年度で終了しましたが、連携機関との共同実施に関する協定書に基づき平成 32 年度まで女性研究者活躍促進事業を実施します。

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム事業

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム事業『運動のカルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点』」が立命館大学との共同拠点として 3 年目を迎え、ロコモ発症・進展予防のためのプログラム開発・技術開発に加え、ロコモ予防運動プログラム及び女性医師を活用した ICT 診療化に向けた開発・実証を行い、成果を各種セミナーや展示会で発表しました。今後も参画企業と連携し製品化などの社会実装に向け更なる研究開発を進めます。

基礎研究医養成活性化プログラム

平成 29 年度文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」において、東京大学を申請大学、福島県立医科大学、本学を連携大学として「福島・関東 病理・法医連携プログラム『つなぐ』」が採択されました。

本プログラムの目的は「基礎医学を志す医師の減少に歯止めをかけるとともに、我が国の国際競争力を強化するため、各大学が連携し、キャリアパスの構築までを見据えた体系的な教育を実施する取組を支援することにより、病理学や法医学等の分野における基礎研究医の更なる確保や基礎研究の強化を図る」とされています。3 大学の病理学、法医学分野の連携により、人材育成を目指します。

20. 教育研究施設・設備の充実

【本郷・お茶の水キャンパス】

〔仮称〕新研究棟建設工事

平成 28 年 8 月から地下・新築工事（I 期）に着手し、躯体工事を実施しています。新築工事（I 期）は、平成 30 年 12 月竣工の予定で工事を進めています。また、9 号館 13 階 SPF 施設を 10 号館 10 階及び 12 階へ移転するための改修工事を実施しています。

【さくらキャンパス】

学生食堂リニューアル

平成 29 年 9 月に学生会館 2 階の教職員専用食堂内の厨房機器を整備し、教職員・学生の区別なく利用可能な「学生食堂」としてリニューアルオープンしました。この食堂では、500 円程度でオムライスプレートやパスタ、サラダなどを中心に提供しています。また、1 月には 1 階食堂のメニュー充実を図り、テイクアウトコーナーも整備しました。

屋外ハンドボールコート照明整備

平成 29 年 11 月に屋外ハンドボールコートの照明を整備しました。これにより、同施設での各クラブの日没以降の練習が可能となり、利用可能時間の拡大、安全性向上など、利用環境の改善を図ることができました。

【浦安キャンパス】

モバイル端末を利用した出席・授業評価システムの導入

平成 29 年度 4 月から学生が所有するモバイル端末を利用した出席確認・授業評価システムを導入しました。これまでのマークシート式と比較し、ペーパーレス化を実現できたことその他、配布と回収にかかる時間を削減でき、授業時間を確保することができるようになりました。

ネットワーク環境整備

平成 29 年 12 月、コアスイッチ（ネットワークカテゴリを分けセキュリティを確保するためのネットワーク装置）を更新しました。

平成 30 年 3 月、モバイル端末を利用した出席管理・授業評価システム導入に伴い、教室の無線アクセスポイントの増強及びその通信が最優先になるよう設定変更しました。また無線アクセスポイントを集中管理するコントローラ装置を更新しました。

【三島キャンパス】

キャンパス共用パソコン・プリンターの更新工事

マルチメディア教室設置のパソコン 133 台とプリンター 6 台、学術メディアセンター設置のパソコン 20 台、ラーニングcommons設置のパソコン 8 台、ラウンジ設置のパソコン 2 台を入れ替えました。動画再生や e-learning を進める上で必要な高いスペックの PC を設置したので、快適なシステム環境のもとで学習を進めることができます。

学内ネットワークシステムの更新工事

学内のサーバー室に設置されているネットワークシステムを更新しました。これによりスピーディーで、より安定した学内のネットワーク環境を提供できます。また無線 LAN のアクセスポイントも更新したので、学内ネットワークへのアクセスのし易さも向上しました。

21. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

順天堂創立 175 周年記念事業の一環として取り組み中の大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス

① 1号館外来・病棟改修工事

外来改修、病棟改修（ICU、無菌、小児・周産期）が進行しています。



礼拝室



無菌病室

② 新研究棟建設

平成 29 年 4 月から基礎工事に着手して、第 I 期は平成 30 年 12 月、第 II 期は平成 32 年 7 月竣工予定です。



外観



講堂

③ 土地・建物不動産取得

キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図りました。

(2) 静岡病院

病院の増床、医療機能の拡充等のための病院整備計画が進められています。



外観（イメージ）

(3) 浦安病院

132床の増床許可を得て、免震構造の地上9階、地下2階の新病棟（3号館）建設工事を進め、平成29年5月に竣工しました。



外観



エントランスホール

(4) 練馬病院

病院の増床、医療機能の拡充等のための病院整備計画を進めていて、平成30年5月に外来棟の工事の準備が進められています。



外観（イメージ）



外来待合（イメージ）

22. スポーツ分野での活躍

パラリンピック・世界選手権

平成30年3月に韓国の平昌で開催された冬季パラリンピック大会に三澤拓君（大学院博士前期課程1年）がパラアルペンスキー競技の5種目に出場しました。平成29年12月にメキシコで開催されたパラ・パワーリフティング世界選手権大会に奥山一輝君（スポーツ科学科2年）がジュニア59kg級に出場、自己記録を更新し、銅メダルを獲得しました。

また、平成29年8月にイギリスのロンドンで開催された世界陸上競技選手権大会に山本凌雅君（スポーツ科学科4年）、北川貴理君（スポーツ科学科3年）の2名が出場、平成29年10月にカナダのモントリオールで開催された世界体操競技選手権大会に谷川航君（スポーツ科学科3年）が出場し、世界の大舞台で活躍しました。



パラ・パワーリフティング
銅メダル

奥山一輝(スポ科2年)

写真提供：日本パラ・パワーリフティング

ユニバーシアード競技大会

学生のオリンピックと言われ、2年に1度開催されているユニバーシアード競技大会が平成29年8月に台湾の台北で開催され、本学より選手12名、スタッフ16名が参加しました。陸上競技、体操競技、サッカー、バレーボールの活躍により、金5個、銀1個、銅7個のメダルを獲得しました。本学の貢献により、日本チーム史上初のメダル獲得国別ランキングで1位となりました。



男子サッカー競技 金メダル

旗手(スポ科2年)

坂(スポ科4年)

名古(スポ科3年)

写真提供：フォート・キシモト

部活動の全国大会優勝

体操競技部男子、スカッシュ部男子・女子、フットサル部が全日本インカレで優勝しました。体操競技部男子は全日本体操団体選手権大会においても社会人の強豪チームのコンナミススポーツクラブなどを抑え優勝し、東日本学生選手権大会と合わせ2年連続で3冠獲得となりました。



体操競技部

写真提供：フォート・キシモト



スカッシュ部



23. 公開講座

左欄：開催年月日

右欄：講座名・テーマ

【法人・大学】

29. 5. 20	第 342 回順天堂医学会学術集会「医学研究の UP-TO-DATE」
6. 17	第 40 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「漢方治療の現状と課題」
24	先端メディカル・イメージング・セミナー「8K で医療を変える」
7. 1	ジェロントロジー：医学・健康学応用講座シンポジウム 「超高齢社会を幸せに生きる」
15	第 3 回高校生セミナー「顕微鏡の世界～正常細胞とがん細胞の違い～」
9. 14	第 343 回順天堂医学会学術集会「あなたの身近にも、ほら、感染症が・・・」
30. 2. 17	第 41 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「再生医療の現状」
3. 22	研究ブランディング事業成果報告会
28	第 344 回順天堂医学会学術集会「教授定年退職記念講演会」

【順天堂医院】

29. 6. 24	第 19 回市民公開講座（がん治療センター） 「悪性リンパ腫」～特にホジキンリンパ腫について～ 「実は身近な薬剤師！」～がん治療における薬剤師の役割～
10. 9	難病医療講演会（東京都難病相談・支援センター） 「パーキンソン病」～パーキンソン病患者さんにスマイルを！～
11. 11	難病医療講演会（東京都難病相談・支援センター） 「後縦靭帯骨化症」～疾患と付き合いの必要性～
12. 16	第 20 回市民公開講座（がん治療センター） 「乳がん検診」～自分にあった検診方法を見つけよう～ 「恥ずかしながらに受けよう・勧めよう子宮がん検診」
23	難病医療講演会（東京都難病・相談支援センター） 「膠原病・リウマチ」～膠原病・リウマチをより深く理解するために～
30. 2. 12	難病医療講演会（東京都難病・相談支援センター） 「潰瘍性大腸炎・クローン病」～炎症性腸疾患の検査と最新の治療 普通の人と変わらぬ生活を～

【静岡病院】

29. 4. 24	第 54 回市民公開講座 「おしっこのことでお困りではありませんか？」
5. 24	第 55 回市民公開講座 「関節リウマチの最新治療 ～適切な治療で「寛解」を目指しましょう～」
6. 20	第 56 回市民公開講座 「脳腫瘍を知ろう ～病気が見つかる症状と最新の治療～」

7. 5	第 57 回市民公開講座 「パーキンソン病のやさしい診断と治療」
8. 8	第 58 回市民公開講座 「「がん」について学ぼう ～これからの時代、知っておくべき「がん」の知識～」
9. 16	第 59 回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「知っておきたい高齢者の目の病気」 ①高齢者の目の病気とは？ ②視覚障害を持つ高齢者の在宅療養の実際と予防
10. 23	第 60 回市民公開講座 「心臓病に対する診断と治療 ～正しく理解する為に～」
11. 14	第 61 回市民公開講座 「がんとわかったときからはじまる緩和ケア」
12. 25	第 62 回市民公開講座 「産婦人科のがんについて ～子宮頸癌ってなに？～」
30. 1. 17	第 63 回市民公開講座 「知っていますか？眼瞼下垂 ～まぶたが下がっていませんか？気になる症状と治療法～」
2. 15	第 64 回市民公開講座 「平成 28 年熊本地震における基幹災害拠点病院の対応」
3. 3	第 65 回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「鼻呼吸と腹式呼吸の重要性」 ①誰でも、いつでも、どこでもできる鼻呼吸と腹式呼吸を用いた健康法 ②生き生き息ササイズ（イキササイズ） & ブローライフルで、健康増進！

【浦安病院】

29. 6. 3	第 1 回うらやす市民大学「医療講座」 「日本の医療と順天堂の歩み」
17	第 2 回うらやす市民大学「医療講座」 「消化器内視鏡の歴史と進歩について～最近の診断と治療～」
7. 15	第 3 回うらやす市民大学「医療講座」 「日光による皮膚トラブル（光老化）」
8. 5	第 4 回うらやす市民大学「医療講座」 「肺がん治療の最前線～分子標的治療から免疫療法まで～」
9. 2	第 5 回うらやす市民大学「医療講座」 「血液疾患と造血幹細胞移植」
16	第 6 回うらやす市民大学「医療講座」 「乳がんの最新情報～検診から診断・治療まで～」
10. 7	第 7 回うらやす市民大学「医療講座」 「前立腺癌に対する診断・治療」
21	第 8 回うらやす市民大学「医療講座」 「加齢による目の病気」

28	第 80 回市民公開講座 「乳がんを知ろう～診断と治療の最新情報～」
11. 4	第 9 回うらやす市民大学「医療講座」 「糖尿病の現在と未来」
18	第 10 回うらやす市民大学「医療講座」 「不整脈と言われたら…。」
12. 2	第 11 回うらやす市民大学「医療講座」 「生殖補助医療（不妊治療）の光と影～浦安卵子凍結の背景とは？～」
16	第 12 回うらやす市民大学「医療講座」 「脳卒中をどう防ぎ、どう治療するか？～知っておきたい脳卒中のこと！～」
30. 1. 20	第 13 回うらやす市民大学「医療講座」 「ロコモティブシンドロームを知っていますか？～そのチェック方法と予防法～」
2. 3	第 14 回うらやす市民大学「医療講座」 「ヘルスリテラシーの向上～医療の質について考える～」
17	第 15 回うらやす市民大学「医療講座」 「大震災時に適切な医療を受けるための備え」
3. 3	第 16 回うらやす市民大学「医療講座」 「身近な心の病」
17	第 17 回うらやす市民大学「医療講座」 「認知症ってどんな病気？」
24	第 81 回市民公開講座 「前立腺癌の治療～ロボット手術を含めて」

【順天堂越谷病院】

29. 4. 15	第 63 回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「男の更年期障害」
7. 29	第 64 回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「男のうつ・女のうつ」
11. 18	第 3 回 ガーヤ★健康茶論 「関節が痛い!!これって膠原病？」「ストレスって何??？」 「冬到来!予防しよう、インフルエンザ」
26	第 65 回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「介護予防から看取りまでー最晩年の生き方ー」

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

29. 4. 22	第 1 回区民健康講座 「あなたのその症状、『胸やけ』『呑酸』、理解されていますか？」
5. 27	第 2 回区民健康講座 「膝の痛み・腰の痛み・歩きに不安を感じますか？～原因は酸化ストレスかもしれません～」
6. 17	第 3 回区民健康講座 「心臓病にならない 敵を知って、予防の極意をつかむ～百寿への新たな挑戦～」

24	第2回区民健康講座（再演） 「膝の痛み・腰の痛み・歩きに不安を感じますか？～原因は酸化ストレスかもしれません～」
7. 1	第4回区民健康講座「認知症に寄り添う日常」
16	第5回区民健康講座 「視界が狭い、まぶたが重い…眼瞼下垂では？原因と治療法のおはなし」
10. 21	第6回区民健康講座「子育て、孫育てと鼻づまりのおはなし」
11. 18	第7回区民健康講座「女性の尿トラブルー頻尿・尿もれ・臓器脱ー」
12. 16	第8回区民健康講座 「抗生物質で効かない細菌とは？ー不適切な処方はされていませんかー」

【練馬病院】

29. 4. 22	区民健康医学講座 「認知症とその予防」
6. 24	区民健康医学講座 「ピロリ菌と胃がん」
10. 28	区民健康医学講座 「乳がんの診断から治療まで」※練馬区との共催
18	区民健康医学講座 「子宮頸がん予防と治療最前線ー完全征圧を目指してー」 ※練馬区との共催
25	区民健康医学講座 「泌尿器科診療最前線ーおしっこ、がんの話から手術で治る高 血圧の話までー」※練馬区との共催
30. 2. 3	区民健康医学講座 「慢性腎臓病・CKD（シーケイディ）ってなに？」

【さくらキャンパス】

29. 4. 9	女性スポーツリーダーシップカンファレンス 2017
7. 29	ロコモ対策 公開講座 講義①『運動の大切さを知ろう！』
8. 12	ロコモ対策 公開講座 講義②『子どもの身体活動と体力低下』
24	女性スポーツ勉強会「女子サッカー選手の視点から考える日本版 NCAA の行方」
10. 7	ロコモ対策 公開講座 講義③『運動と認知機能』
22	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「レクリエーション教室」
28	ロコモ対策 公開講座 講義④『筋力トレーニング・有酸素運動の効果と方法』
29	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「サッカー教室」
11. 3	オープンキャンパス公開講座 「自宅でできる筋トレを身に付けよう！」 「ちゃれんじどフィットネスクラブ」 「陸上競技クリニック」 「パラリンピック・スポーツを知って・感じて・考える!!-オリンピック・パラリン ピックを通じた学びとは?【講義 編】」



11. 3	オープンキャンパス公開講座（続き） 「みんなで身体と心と目を調べよう！～スポーツ科学の視点から～」 「親子でできる筋トレを身に付けよう！」 「健康難民から健康住民へ ～インターカレッジ・ヘルスプロモーション・セミナー（ICHPS）体験会～」 「パラリンピック・スポーツを知って・感じて・考える!!-オリンピック・パラリンピックを通じた学びとは?【実習 編】」 「「上手くなる」脳のしくみについて考えてみよう！～プリズムメガネを使った運動学習実験～」 「アルツハイマー病の治療の現状と予防について～運動の意義～」 「バレーボールクリニック」 「伝わる英語の話し方～英語のPronunciation Clinic 子音編～」 「野球の試合の数学モデルによる表現」 〃 ロコモ対策 公開講座 実技『自宅でできる筋トレを身に付けよう!』
12	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「陸上競技教室」
16	平成 29 年度順天堂大学公開講座 兼（公財）日本体育施設協会認定公認体育施設管理士養成講習会
19	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「バスケットボール教室」
12. 9	ロコモ対策 公開講座 講義⑤『運動と栄養』
30. 1. 13	文京ジュニア・アスリート・アカデミー公開講座 「スポーツ活動中のケガを防ぐポイント」
20	文京区健康・体力増進事業・講演会 テーマ「姿勢」
28	文京区健康・体力増進事業・講演会 テーマ「メンタルヘルス」
2. 3	文京区健康・体力増進事業・講演会 テーマ「アクティブライフ」
10	女性アスリートヘルスサポートセミナー2018
3. 26	浦安市公開講座「なわとび教室」

【浦安キャンパス】

29. 7. 19	第 32 回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「脳卒中の予防について」
8. 5	オープンスクール 「感染予防における看護師の役割」
6	オープンスクール 「自然免疫の仕組み～病原体はどのように認識されるのか～」
23	第 33 回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「冬場に流行する感染症を予防するための方法」

8.23	オープンスクール 「看護という仕事」
9.20	第34回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「コミュニケーションと健康」
10.18	第35回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「最期まで自分らしく暮らす - 訪問看護を上手に使おう - 」
20	第36回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「こどもの夜尿症について知っておくべき基礎知識」
11.20	第37回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「いざというとき困らないために」
12.13	ベイシニア浦安地域医療セミナー 「肺の健康を考えよう」
30. 2. 8	第38回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「こころの健康 マインドフルネス瞑想をやってみよう」

【三島キャンパス】

29. 9.14	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第1回「先人に学ぶ 心と身体の健康」
16	第10回順天堂大学保健看護学部公開講座 ※静岡病院合同開催 「知っておきたい高齢者の目の病気」 ①高齢者の目の病気とは？ ②視覚障害を持つ高齢者の在宅療養の実際と予防
21	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第2回「健康のためのナース活用法 - ナースは何者？何を提供できるのか - 」
10. 5	第3回「日々の生活を整えるところから」
12	第4回「脳の健康を考える」
30. 3. 3	第11回順天堂大学保健看護学部公開講座 ※静岡病院合同開催 「鼻呼吸と腹式呼吸の重要性」 ①誰でも、いつでも、どこでもできる鼻呼吸と腹式呼吸を用いた健康法 ②生き生き息ササイズ (イキササイズ) & ブローライフルで健康増進！

【国際教養学部】

29.10.21	市民公開講座 順天堂健康塾 「サイレントキラー～放置すると怖い高血圧症～」 「生涯健康学習のすすめ」
24	「UNHCR 難民映画祭 - 学校パートナーズ」 上映会
12.18	「持続可能な高齢化社会」 フォーラム

【男女共同参画推進室】

29. 11. 18	第7回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム 「イノベーションによる未来の働き方の創生～医科学領域における女性の更なる活躍に向けて～」 (東京医科歯科大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所との共同開催)
12. 12	平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」第3回シンポジウム 「男女が共に働きやすい・働きがいのある職場とは～ダイバーシティ環境を目指して～」 (東京医科歯科大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所との共同開催)

24. 社会貢献・地域交流・ボランティア活動

左欄：開催年月日

右欄：活動名

【本郷・お茶の水キャンパス】

29. 4. 9	順天堂交響楽団定期演奏会（ティアラこうとう大ホール）
10. 28	東京都主催「外国人おもてなし語学ボランティア養成講座」（国際教養学部）
11. 17	「文京博覧会 2017」出展（～18日）
30. 3. 11	ボッチャ体験・普及員講習会に職員が参加

【順天堂医院】

29. 6. 6	都立北特別支援学校遠足 医師・看護師派遣
7. 5	都立文京盲学校移動教室における付添医師派遣（7月5日～7日）
23	小児病棟夏祭り
10. 3	都立北特別支援学校遠足 医師・看護師派遣

【静岡病院】

29. 5. 22	中学生職場体験（～23日）（伊豆の国市立葦山中学校2名参加）
24	中学生職場体験（～26日）（伊豆の国市立大仁中学校1名参加）
6. 1	中学生職場体験（～2日）（伊豆の国市立長岡中学校2名参加）
5	高校生職場体験（～9日）（田方農業高等学校1名参加）
7. 27	高校生1日体験ナース（～28日）（27日29名、28日28名参加）
8. 3	高校生リハビリテーション見学（静岡県東部地区高等学校6名参加）
9. 22	キャリア教育 フライトドクター・ナース派遣（三島市立山田小学校）
10. 30	中学生職場体験（～31日）（沼津市立大平中学校2名参加）
11. 12	糖尿病予防キャンペーン 看護師派遣（アピタ大仁）
30. 2. 5	職業講話学習 フライトナース派遣（三島市立北小学校）
3. 1	社会人講話 看護師派遣（函南町立東中学校）
31	子ども医療体験会「コード・ブルーセミナー」（小中学生24名参加）

【浦安病院】

29. 4. 24	浦安市介護認定審査会に看護師、リハビリテーション科技師各1名派遣（年11回）
5. 13	県民が集う「看護の日」に看護師1名派遣（千葉県看護協会主催）
9. 16	「まちの保健室」に看護師1名参加（千葉県看護協会主催）
7. 28	ふれあい看護体験（千葉県看護協会主催、高校生受入）
10. 27	〃
11. 1	浦安市夜間路上禁煙運動駅前キャンペーンに参加（新浦安駅前）



13	浦安市学校等における巡回訪問看護事業検討委員会に看護師 2 名派遣
30. 1. 22	〃
2. 17	「まちの保健室」に看護師 1 名参加（千葉県看護協会主催）

【順天堂越谷病院】

30. 3. 10	桜井地区民生委員・児童委員協議会共催 「地域福祉推進講演会」『認知症の人と共に生きる』 桜井地区センター・公民館「あすばる」多目的ホールの講演会に講師(看護師)派遣
-----------	--

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

29. 4. 19	認知症カフェ（院内開催）（5月31日、6月21日、7月19日、8月16日、9月20日、10月7日、10月25日、11月15日、12月20日、1月17日、2月21日、3月3日、3月28日）
23	NPO 法人深川長屋認知症カフェ：講師派遣
5. 27	第2回レビー小体型認知症サポートネットワーク 埼玉交流会：講師派遣
28	NPO 法人深川長屋認知症カフェ：講師派遣
6. 18	第三回 認知症 手をあてるフォーラム（TKP 品川カンファレンスセンター）：講師派遣
7. 1	病院看護師のための認知症ケア研修～ケア加算対象～（外部看護師対象）（～2日）
13	江東区介護予防リーダー養成講座：講師派遣
23	NPO 法人深川長屋認知症カフェ：講師派遣
28	認知症について（清湘会記念病院）：講師派遣
8. 1	高校生一日体験（ナースプラザ 2名）
9. 9	認知症家族介護者教室（北砂ホーム）：講師派遣
16	認知症カフェ 銀色茶房：講師派遣
24	NPO 法人深川長屋認知症カフェ：講師派遣
10. 7	いきいき健康茶論
14	ウエルカムサポートセンター訪問看護師対象ストーマケアセミナー（江東区文化センター）：講師派遣
26	みどりの郷 オレンジカフェ「福はうち」：講師派遣
28	第35回江東区民まつり中央まつり：講師派遣
11. 26	NPO 法人深川長屋認知症カフェ：講師派遣
27	大島西中学校職業体験（～29日）
30	認知症を理解しようパートⅡ（清湘会記念病院）：講師派遣
12. 1	認知症家族教室

22	墨田区介護事業者向け講演会（中村病院と開催）
30. 3. 3	いきいき健康茶論
毎月第2土	すこやか認知症カフェ健康相談：講師派遣

【練馬病院】

29. 6. 21	食事療法に関する調査、取材訪問（徳島県立富岡西高等学校）
22	小学生による探検（練馬区立谷原小学校）
28	小学生による施設見学およびインタビュー（練馬区立石神井東小学校）
7. 12	まち探検における施設見学およびインタビュー（練馬区立石神井東小学校）
21	一日看護体験学習（東京都看護協会東京都ナースプラザ）（～8月1日）
8. 12	C-cube プロジェクト（練馬区南田中小学校・石神井東小学校 38名参加）
9. 7	中学生職場体験学習（練馬区立練馬中学校）
13	中学生職場体験学習（練馬区立南ヶ丘中学校）
11. 9	中学生職場体験学習（練馬区立光が丘第二中学校）（～11月10日）
30. 2. 2	中学生職場訪問（練馬区立谷原中学校）
3. 25	練馬こぼしハーフマラソン 2018（救護体制への応援・メディカルランナーの参加）

【さくらキャンパス】

29. 4. 2	体操教室（小中学生対象・毎週日曜日）
12	成田市 適応指導教室における学習支援
5. 28	酒々井町学習支援「未来塾」 中学生への学習指導ボランティア（～H30. 3. 11）
30	成田市 子どもの運動能力向上支援事業 関係者向けの運動遊びの研修会 （講師派遣 全3回）
6. 24	アンプティサッカー日本代表候補合宿 学生による運営ボランティア、トレーニングサポート（～25日）
27	成田市 子どもの運動能力向上支援事業 保育園での運動指導（講師派遣 全18回）
7. 2	SAKURA 未来プロジェクト Vo1. 2「スポーツの力でこどもの未来を変える」開催
5	佐倉市民カレッジ（講師派遣 全5回）
7	文京区体力向上アドバイザー（区内小学校への指導者派遣 全20校）
29	印西市市民アカデミー「健康と運動～健康づくりとライフスタイル」講師派遣
8. 1	習志野こども健康大学（～2日）
10. 8	酒々井スポーツ・レクリエーション祭開催に伴う運営協力
14	文京区 こども体力向上推進事業 イベント（講師派遣 全2回）
11. 5	体力・運動能力測定会講師派遣



7	富里市 幼児の運動遊び推進活動
12	酒々井まちづくり研究所シンポジウム「地域と創年・子供」パネリスト
21	富里第一小学校家庭教育学級「たんぽぽ学級」講師派遣
26	平成 29 年度港区ジュニア育成事業「ジュニア陸上競技教室」(指導者派遣 全 4 回)
28	全日本女子ソフトボールチーム合宿ボランティア
29	「パラスポーツフォーラム in CHIBA」パラリンピック・スポーツの体験会参加
12. 10	千葉県男女共同参画センター連携セミナー「ダンス」
15	白井市民大学校講座「地域でのつながりを考えてみよう～被災地からみえてきたもの～」
24	白井市スポーツ指導者養成講座(講師派遣 全 2 回)
30. 1. 21	アメリカのコーチ、選手による陸上クリニック(小中学生対象)
25	富里市創年セミナー「筋力アップストレッチ講座」講師派遣
26	富里第一小学校「1000 カ所ミニ集会」に係る講師派遣
2. 20	SAKURA 未来プロジェクト Vol. 3「大学と地域の連携によるパラスポーツ推進」(印西市内小中学校 3 ヶ所で開催)
24	さかえスポーツフェスタ～誰もがオリンピックを目指して～講師派遣
その他の活動	<p>パラリンピック日本代表候補選手合宿(投擲)の受け入れ</p> <p>パラリンピック日本代表候補選手(高校生)への練習場所の提供</p> <p>日本ゴールボール協会の代表選手合宿・体験会の実施</p> <p>日本ボッチャ協会の体験会における補助</p> <p>海外トップ選手(五輪メダリスト)への練習場所の提供</p>

【浦安キャンパス】

29. 4. 16	地域の障害者との交流とミニ運動会参加
5. 18	ゴミゼロ運動普及啓発キャンペーン参加(～19日)
6. 9	自転車無盗難及び無灯火自転車ゼロキャンペーン参加
10	地域の障がい者・児とのふれあい芋ほり交流会バスツアー参加
9	自転車無盗難推進キャンペーン参加
7. 13	夏季防犯キャンペーン及び市内一斉防犯パトロール団結式参加
8. 21	うらやすこども大学 市内在住の小学4、5年生に「心ぞうの動きを感じてみよう」、「みて・聴いて・触れて・驚く!新生児の不思議」をテーマに講義
9. 1	福島でのテディベアクリニックサークル活動 被災地ボランティア「遊びの教室」
21	健康教室 浦安市老人クラブ対象(海南クラブ)

23	健康教室 浦安市高齢者対象（浦安市老人福祉センター）
30	健康教室 浦安市老人クラブ対象（海風の街これから会）
10. 3	赤い羽根共同募金街頭募金活動参加
9	東京都医師会キッズホスピタルランド 幼児から小学生の親子対象 学生派遣
15	自転車盗難防止キャンペーン参加（～16日）
18	健康教室 浦安市老人クラブ対象（舞浜三丁目マイアミクラブ）
18	健康教室 生後1歳未満児とその父母対象（地域子育て支援センター ハミング）
24	健康教室 浦安市老人クラブ対象（浦安市老人福祉センター）
24	健康教室 浦安市老人クラブ対象（富岡渚会）
27	喫煙マナー向上・ポイ捨て防止合同キャンペーン参加
11. 20	健康教室 浦安市老人クラブ対象（海楽菜の花クラブ）
22	健康教室 生後1歳未満児とその父母対象（地域子育て支援センター ハミング）
22	健康教室 浦安市老人クラブ対象（海園の街盛年会）
24	健康教室 浦安市老人クラブ対象（見明川常盤会）
12. 1	歳末たすけあい街頭募金参加
21	キャンドルサービス（病棟・病室訪問）
4～3月	浦安子ども支援サークル「UP DRAFT」（生活困窮世帯などの子どもの学習支援） 浦安市学生防犯委員会 V5 会議参加（年7回開催） 浦安市指定避難所 災害時の避難施設として浦安キャンパスの一部を浦安市民に開放 浦安市こどもプロジェクト事業効果測定研究（少子化対策への取組方法の研究）への協力 市民参加型ワークショップ「浦安ワクワク会議」への参加

【三島キャンパス】

29. 4. 29	大場川クリーン活動（リバーフレンドシップ制度に基づく学生清掃ボランティア活動、年11回活動）
8. 8	三島市家族介護教室（9月22日まで計5回開催）
9. 9	三島市災害時医療救護体制 救護所訓練
25	東部健康福祉センター・三島市「自殺予防週間」街頭キャンペーン参加（学生・教員）
11. 25	静岡県賀茂郡南伊豆町でのDRC活動のPR及び海岸清掃
12. 9	キャンドルナイト三島参加（温暖化防止イベントでの学生有志及び吹奏楽部の活動）
21	クリスマスキャロル（静岡病院）病棟・病室訪問
30. 2. 10	ノルディックウォーキングガイド養成講座
その他の活動	三島市「グローバル人材育成都市協議会」参画 三島市「ガーデンシティみしま推進会」参画



三島市健康づくり推進協議会委員派遣
三島市「A・RU・KU～みしま散歩とカラダリフレ～」参画
三島市子ども・子育て会議委員派遣
三島市高齢者福祉及び介護保険運営懇話会委員派遣
三島市まち・ひと・しごと創生推進会議委員会派遣
三島警察署協議会委員派遣
複数高校へ出張し、模擬授業を広報委員（教員）、他教員が分担して担当（高大連携）
地元住民の早朝ウォーキング、休日テニスなどの施設貸出
大学祭での他福祉施設へ出展ブース提供などの協力（地域社会・住民と学生の協働）
三島市スポーツ保育推進事業への教員・学生ボランティアの参加
三島市防災訓練協力
OSCE 模擬患者役に地域の方々が教育ボランティアとして参加
「患者援助論」演習における地域の方々が教育ボランティアとして参加
「公衆衛生看護活動論Ⅰ」演習における地域の方々が教育ボランティアとして参加
三島市民有志による「大学花壇づくりボランティア」の受入れ（第3月曜日）

25. 平成 29 年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)

単位：百万円

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生納付金収入	7,704	7,777	△ 73
手数料収入	468	494	△ 26
寄付金収入	1,869	1,804	65
補助金収入	7,182	7,099	83
資産売却収入	6,558	13,122	△ 6,564
付随事業・収益事業収入	2,756	3,358	△ 602
医療収入	141,887	142,040	△ 154
受取利息・配当金収入	159	196	△ 38
雑収入	2,021	2,284	△ 263
借入金等収入	500	120	380
前受金収入	1,982	2,113	△ 131
その他の収入	24,838	25,313	△ 475
資金収入調整勘定	△ 26,887	△ 27,216	329
当年度資金収入合計	171,035	178,504	△ 7,468
前年度繰越支払資金	23,767	23,767	△ 0
収入の部合計	194,802	202,271	△ 7,468

資金収入は、補正後予算（以下予算という）と比較し、約 75 億円上回りました。主な要因として、再編事業の支払いや新学部の開設準備に充当するため、有価証券を取り崩したことがあげられます。

(支出の部)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	57,245	57,304	△ 59
教育研究経費支出	22,585	22,280	305
医療経費支出	57,146	57,422	△ 276
管理経費支出	4,745	4,400	345
借入金等利息支出	2	0	2
借入金等返済支出	64	134	△ 70
施設関係支出	15,771	14,850	922
設備関係支出	7,313	5,264	2,049
資産運用支出	614	752	△ 138
その他の支出	11,249	11,210	39
予備費	2,139	0	2,139
資金支出調整勘定	△ 10,462	△ 10,483	21
当年度資金支出合計	168,411	163,132	5,279
次年度繰越支払資金	26,391	39,139※2	△ 12,748
支出の部合計	194,802	202,271	△ 7,468

資金支出は、予算と比較し約 53 億円下回りました。主な要因としては、

- ① 当年度支払予定の再編事業関連工事や一部の設備投資が翌年度に繰り越しとなったこと。
 - ② 予備的に計上していた予算を使用しなかったこと。
- があげられます。

再編事業の支払いや新学部の開設準備に充当するため、有価証券を取り崩し、当年度資金収支差額は約 154 億円※1のプラスとなり、次年度繰越支払資金は約 391 億円※2となりました。

当年度資金収支差額	2,624	15,372※1	△ 12,748
-----------	-------	----------	----------

(2) 事業活動収支計算書

単位：百万円

		科 目	H29年度決算	H28年度決算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生納付金	7,777	7,408	369
		手数料	494	472	21
		寄付金	1,790	1,943	△ 152
		経常費等補助金	6,610	6,687	△ 77
		付随事業収入・収益事業収入	3,358	3,023	335
		医療収入	142,040	135,270	6,771
		雑収入	2,285	2,241	44
		教育活動収入 計	164,355	157,044	7,311
	事業活動支出の部	人件費	58,446	56,603	1,843
		(退職給与引当金繰入額)	(2,814)	(2,751)	(63)
教育研究経費		32,905	32,254	651	
(減価償却額)		(10,625)	(9,379)	(1,247)	
医療経費		57,636	54,021	3,614	
管理経費		5,015	4,873	142	
(減価償却額)		(631)	(511)	(120)	
徴収不能額等		56	170	△ 114	
教育活動支出 計	154,059	147,922	6,136		
教育活動収支差額			10,296	9,121	1,175
教育活動外収支	収事業の活動の部	受取利息・配当金収入	196	233	△ 36
		その他の教育活動外収入	0	0	△ 0
		教育活動外収入 計	196	233	△ 36
	支事業の活動の部	借入金等利息	0	8	△ 8
		その他の教育活動外支出	0	0	△ 0
		教育活動外支出 計	0	8	△ 8
教育活動外収支差額			196	224	△ 28
経常収支差額			10,492	9,346	1,146
特別収支	収事業の活動の部	資産売却差額	1	0	1
		その他の特別収入	695	787	△ 92
		特別収入 計	697	787	△ 90
	支事業の活動の部	資産処分差額	45	1,368	△ 1,322
		その他の特別支出	16	41	△ 25
		特別支出 計	61	1,408	△ 1,347
特別収支差額			636	△ 621	1,257
予備費			0	0	0
基本金組入前当年度収支差額			11,128	8,725	2,403
基本金組入額合計			△ 17,822	△ 17,476	△ 346
当年度収支差額			△ 6,694	△ 8,751	2,057
前年度繰越収支差額			△ 52,308	△ 43,557	△ 8,751
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 59,002	△ 52,308	△ 6,694
(参考)					
事業活動収入 計			165,248	158,064	7,184
事業活動支出 計			154,120	149,339	4,781

教育活動収入は、約 1,644 億円となり、前年度と比較すると約 73 億円増加しました。主な要因としては、附属病院において増床及び診療体制を充実させ高度な医療を提供したことにより、医療収入が増加したことがあげられます。

教育活動支出は、約 1,541 億円となり、前年度と比較すると約 61 億円増加しました。主な要因は以下の通りです。

- ① 高度医療の実施に伴う高額薬品費支出等による医療経費の増加。
- ② 診療体制を更に充実させるため医療スタッフを増員したことによる人件費の増加。

経常的な収支を表す経常収支差額は、約 105 億円となり、前年度と比較すると約 11 億円増加しました。

従来の帰属収支差額にあたる基本金組入前当年度収支差額は約 111 億円となり、前年度と比較すると約 24 億円増加しました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

単位：百万円

科 目	H29年度決算	H28年度決算	増 減
固 定 資 産	201,040	186,433	14,607
有形固定資産	176,181	167,507	8,674
土地	54,284	53,070	1,214
建物	79,086	71,816	7,271
その他の有形固定資産	42,810	42,621	189
特定資産	11,593	11,546	47
その他の固定資産	13,266	7,380	5,886
流 動 資 産	93,139	95,617	△2,478
現金預金	39,139	23,767	15,372
その他の流動資産	54,000	71,849	△17,849
資 産 の 部 合 計	294,178	282,049	12,129

固定資産のうち有形固定資産は、再編事業の実施に伴う建替工事、増床工事等の竣工により増加しました。
流動資産のうち現金預金は、有価証券を取り崩したため増加しました。

総資産は、前年度より約121億円増加して、約2,942億円となりました。

(負債の部)

科 目	H29年度決算	H28年度決算	増 減
固 定 負 債	30,489	30,474	14
長期借入金	0	21	△21
学校債	4,810	5,780	△970
その他の固定負債	25,679	24,674	1,005
流 動 負 債	15,756	14,769	987
短期借入金	21	64	△44
短期学校債	1,020	0	1,020
その他の流動負債	14,715	14,704	11
負 債 の 部 合 計	46,244	45,243	1,001

負債は、約462億円と前年度対比で約10億円の増加となりました。
主な要因は、その他の固定負債のうち退職給与引当金が増加したことによります。

(純資産の部)

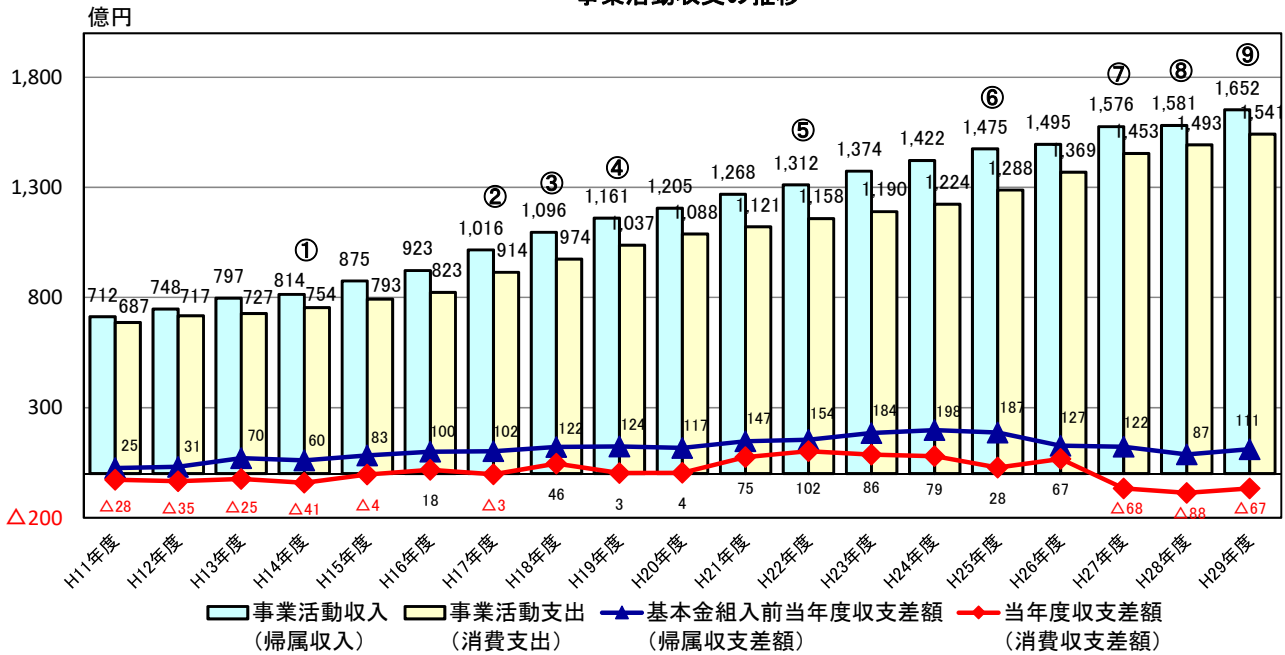
科 目	H29年度決算	H28年度決算	増 減
基本金	306,937	289,115	17,822
第1号基本金	294,917	276,773	18,144
第2号基本金	783	1,306	△523
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	11,237	11,036	201
繰越収支差額	△59,002	△52,308	△6,694
翌年度繰越収支差額	△59,002	△52,308	△6,694
純資産の部合計	247,934	236,806	11,128
負債及び純資産の部合計	294,178	282,049	12,129

基本金は、固定資産取得等により約178億円増加して、約3,069億円となりました。

純資産の部は、基本金組入前当年度収支差額分の約111億円増加して、約2,479億円となりました。

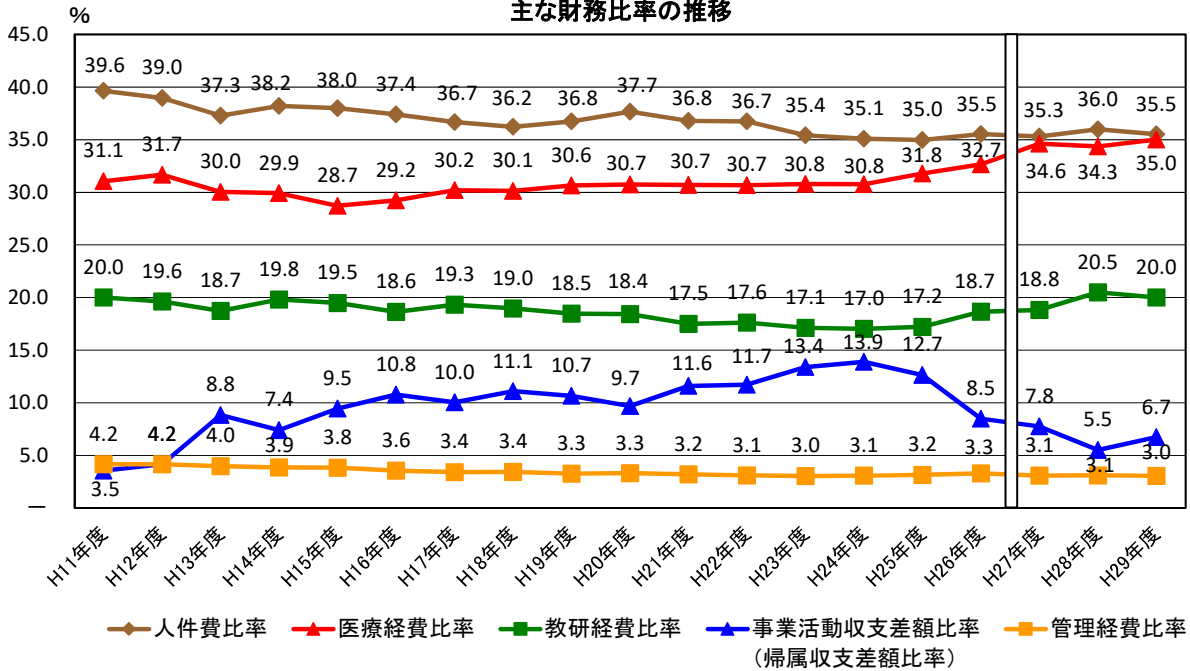
26. 財務状況の推移

事業活動収支の推移



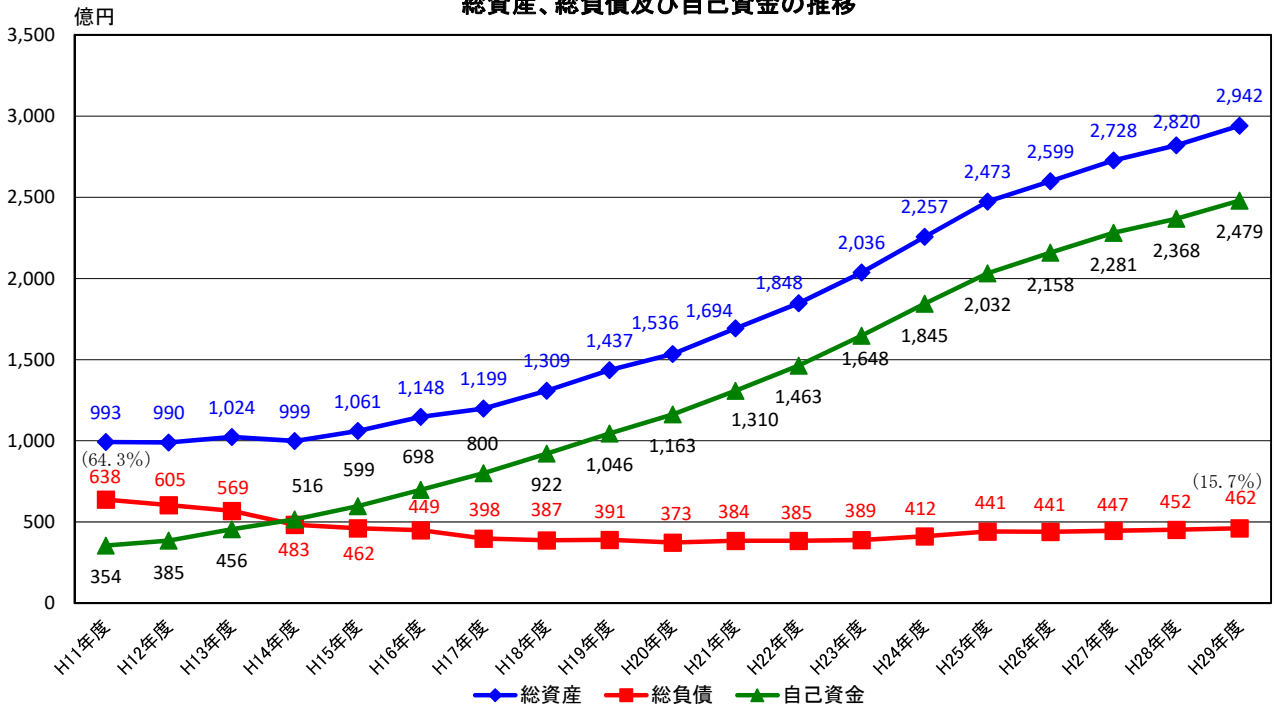
教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。
 ①平成 14 年度順天堂東京江東高齢者医療センター開院、②平成 17 年度練馬病院開院、③平成 18 年度静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、④平成 19 年度スポーツロジセンター設立、浦安病院救急救命センター設置、練馬病院 3 号館建設、⑤平成 22 年度静岡県三島市に保健看護学部を開設、⑥平成 25 年度順天堂医院 B 棟 I 期竣工、⑦平成 27 年度本学第 5 番目の学部として国際教養学部を開設、⑧平成 28 年度順天堂医院 B 棟 II 期・C 棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床、⑨平成 29 年度浦安病院では 3 号館が竣工し 126 床増床しました。

主な財務比率の推移



上記は財務比率の推移を示しています。平成 27 年度の学校法人会計基準改正に伴い上記の比率のうち、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母が従来の帰属収入（新基準の事業活動収入）から経常収入に変更されています。平成 29 年度は事業活動収支差額比率が増加していますが、全学的な再編事業に伴う施設の取壊し等の一時的費用が減少し、基本金組入前当年度収支差額が改善したことが主な要因です。

総資産、総負債及び自己資金の推移

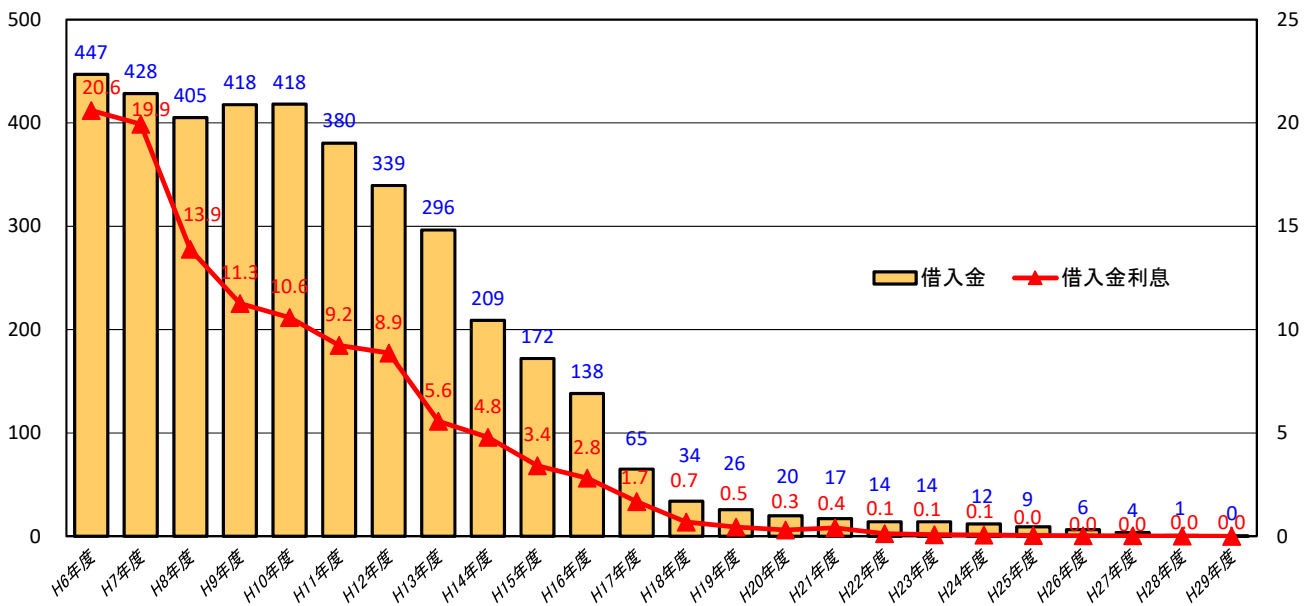


上記のグラフは総資産、総負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで総負債が自己資金を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から平成29年度には15.7%と、大幅に改善しています。

借入金残高
単位：億円

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

借入金利息
単位：億円



総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。平成29年度末の金融機関等からの借入金残高は約0.2億円となりました。現預金残高は借入金総額を大幅に上回り、健全な運営を維持しております。



Juntendo, Tokyo, Established 1838